



# 新機能

(2023年7月18日)

**Mercury-LAVIS (2023年7月18日) の  
新機能をご紹介します。**

# 目次

## 新機能

# Mercury-LAVIS

(2023年7月18日)

## 1 管理プログラム P.1

- 1-1 Mercury-Evolveデータコンバートの内容を拡張 \_\_\_\_\_ 1
- 1-2 相関関係図の外部ファイル出力を強化 \_\_\_\_\_ 1
- 1-3 地籍F2Kの編集とダンプ出力に対応 \_\_\_\_\_ 2

## 2 事務支援（設定） P.3

- 2-1 CSV入出力時に読み込む筆の項目を拡張 \_\_\_\_\_ 3

## 3 事務支援（帳票） P.4

- 3-1 よく使用する帳票のお気に入り登録 \_\_\_\_\_ 4
- 3-2 設定の共通項目を追加 \_\_\_\_\_ 5
- 3-3 E工程の帳票を追加 \_\_\_\_\_ 6

## 4 公図 CAD（共通） P.7

- 4-1 地番名末尾の「W」の処理機能を追加 \_\_\_\_\_ 7

## 5 公図 CAD（調査前） P.8

- 5-1 ラスタ画像の編集を強化 \_\_\_\_\_ 8
- 5-2 地番属性読み込みの強化 \_\_\_\_\_ 9
- 5-3 内包地番を削除する機能を追加 \_\_\_\_\_ 10
- 5-4 図郭の縮尺編集の強化 \_\_\_\_\_ 11
- 5-5 地番形状の編集を強化 \_\_\_\_\_ 12
- 5-6 座標登録時の杭設定を強化 \_\_\_\_\_ 13

## 6 公図 CAD（調査後） P.14

- 6-1 調査後の筆登録を改良 \_\_\_\_\_ 14
- 6-2 調査後の異動処理を拡張 \_\_\_\_\_ 15
- 6-3 調査後の合筆処理を改良 \_\_\_\_\_ 16
- 6-4 地番形状の編集を強化 \_\_\_\_\_ 17
- 6-5 座標登録時の杭設定を強化 \_\_\_\_\_ 18

## 7 公図 CAD（街区調査） P.19

- 7-1 所在図作成の機能を強化 \_\_\_\_\_ 19
- 7-2 街区境界点名の表示/編集機能を追加 \_\_\_\_\_ 20

## 8 公図 CAD（調査 CAD） P.21

- 8-1 調査図素図の地番内文字項目の追加 \_\_\_\_\_ 21

## 9 地籍計算 CAD（共通） P.22

- 9-1 よく使用するコマンドメニューのお気に入り登録 \_\_\_\_\_ 22
- 9-2 現場プロットに座標・地番の選択モード「多角形イン」を追加 \_\_\_\_\_ 23
- 9-3 現場プロットに地籍計算CADデータの背景表示機能を追加 \_\_\_\_\_ 24
- 9-4 計算書のフォント指定 \_\_\_\_\_ 25

## 10 地籍計算 CAD（座標管理・地番管理） P.26

10-1 座標削除の判断を強化	26
10-2 図郭配置時に図郭名を自動取得する機能を追加	27
10-3 外周・字界の種別変更の強化	28
10-4 結線重複の検査を強化	29
10-5 ST路線と構成点の名称付与	30
10-6 簡易抽出によるあいまい検索	31
10-7 確定測量の成果対応	32

## 11 地籍計算 CAD（成果管理） P.33

11-1 ST路線のファイリング	33
------------------	----

## 12 地籍計算 CAD（多角計算） P.34

12-1 手簿データを追回と放射（単回）で分割	34
12-2 手簿データを成果観測と点検観測で分割	35
12-3 手簿データを多角測量/細部放射/一筆放射で分割	35
12-4 電子野帳取り込みのファイル数の拡張	36
12-5 制限値のデータ確認を強化	36
12-6 観測データのプロット形状確認を強化	37

## 13 地籍計算 CAD（地積測定） P.38

13-1 地積測定成果簿の分属処理対応	38
---------------------	----

## 14 地籍計算 CAD（CAD） P.39

14-1 一筆詳細図の求積表の配置方法を変更	39
14-2 一筆詳細図の元ページ配置に対応	40
14-3 元ページを利用した図面合成	41
14-4 ラスタ画像の編集を強化	41
14-5 図面ページ数制限の緩和	41
14-6 地籍図一覧図の図枠外周を赤色にする	42
14-7 地籍図等の4枚図配置に対応	43
14-8 地籍図等の文字の設定項目を拡張	44
14-9 地積測量図に一括で方位と引照点を配置	45
14-10 注釈のイロハ処理の改善	46
14-11 14条地図作成業務における納品成果	47
14-12 印刷用ページ作成に対応	48
14-13 画像を含むPDF出力の強化	49
14-14 作図要素の属性一括変更に対応	50

## 15 図枠カスタマイズツール P.52

15-1 連動文字の強化	52
15-2 連動文字の変更	53

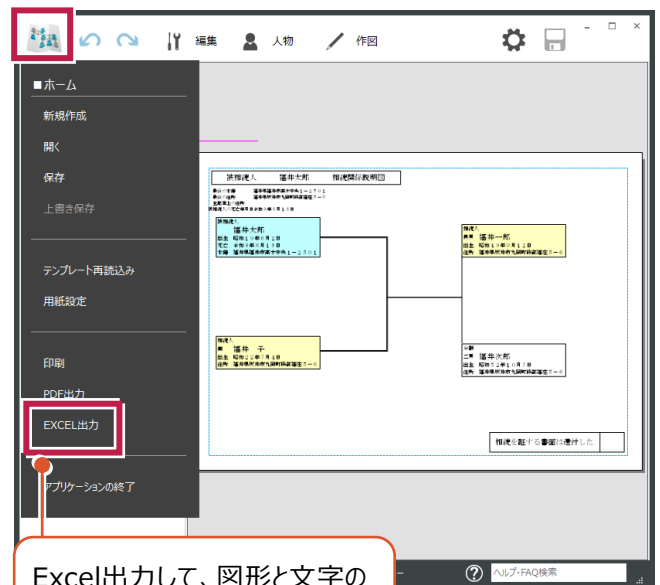
# 1 管理プログラム

## 1-1 Mercury-Evolve データコンバートの内容を拡張

Mercury-Evolveの現場データ取り込み時に「画地属性および図郭、外周、字界、分属、ST路線、共有者、持ち分、プロットマーク、測定区分、本点」等の情報も読み込めるよう拡張しました。

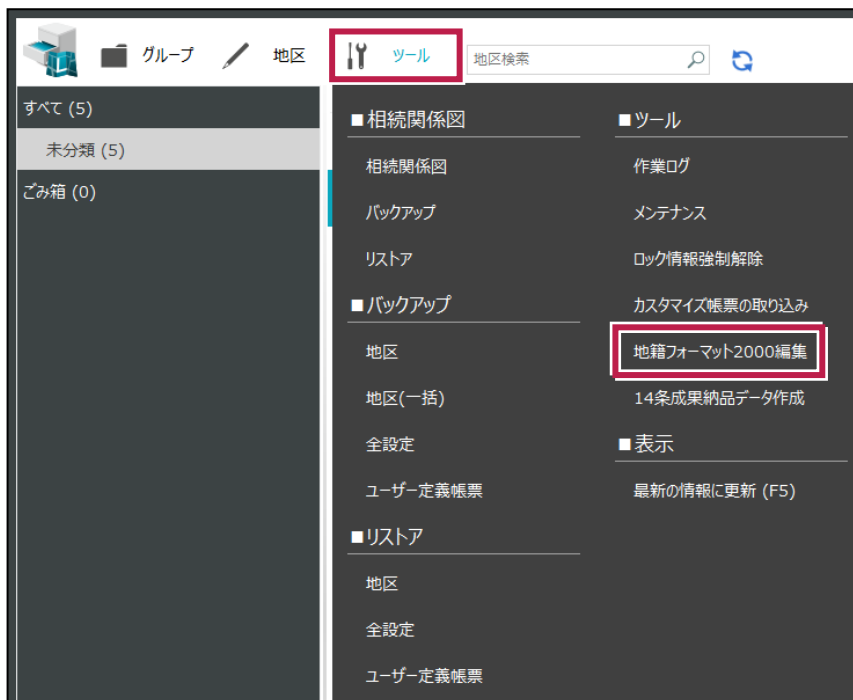
## 1-2 相続関係図の外部ファイル出力を強化

相続関係図のExcelファイルへの出力に対応しました。



## 1-3 地積 F2K の編集とダンプ出力に対応

[ツール] - [ツール] - [地籍フォーマット2000編集] を追加して、地籍FK2ファイルを読み込み、各ファイルの内容を編集できるようにしました。また、クリップボードとダンプリストの出力にも対応しました。



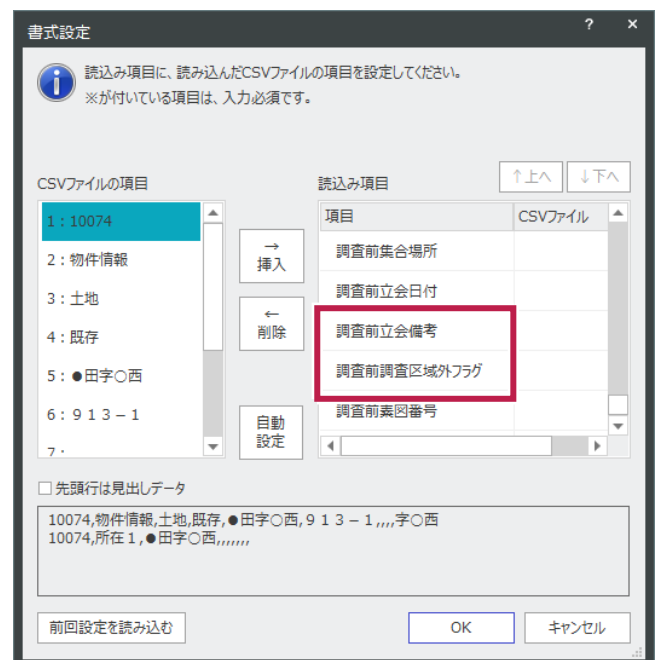
# 2 事務支援（設定）

## 2-1 CSV 入出力時に読み込む筆の項目を拡張

【ツール】 - 【CSVファイル入出力】で「筆」データにおいて、「立会情報の備考」「筆・人物情報の備考」、調査前の調査区域のフラグ4種「内・外・隣接・未定」の取り込みに対応しました。



CSVファイルで書き込み、Excel等で項目を編集し、CSVファイルを再度読み込むなど、編集できる幅が広がります。

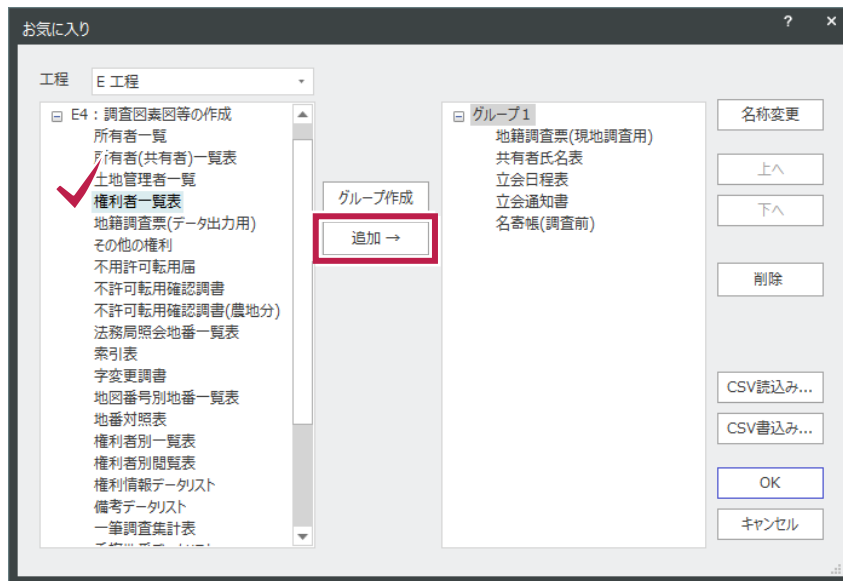




# 3 事務支援（帳票）

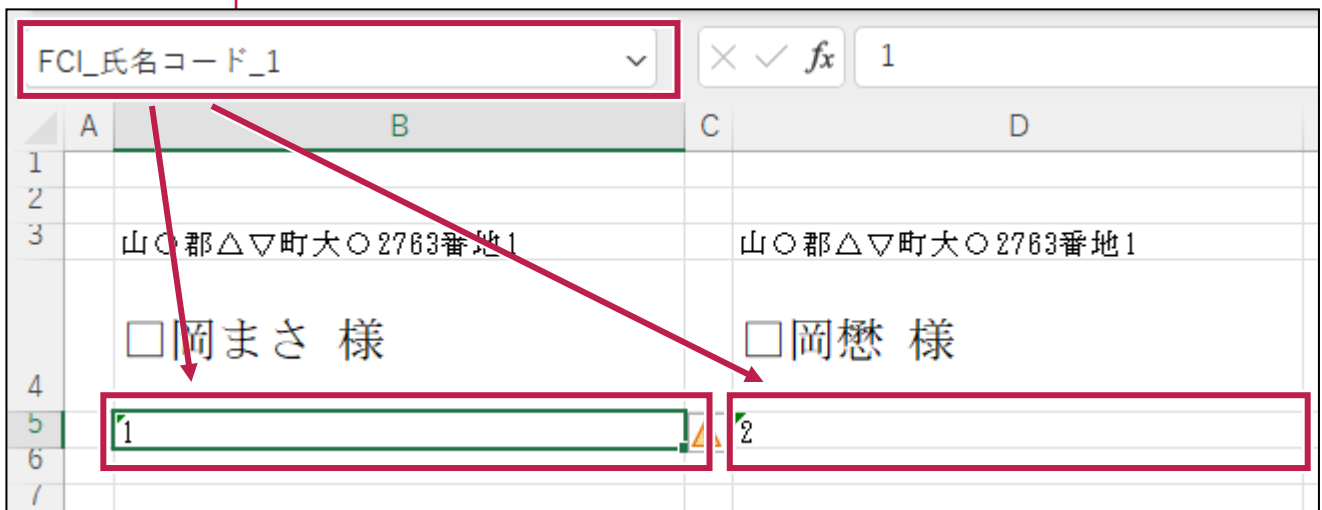
## 3-1 よく使用する帳票のお気に入り登録

よく使用する帳票を、帳票グループの「お気に入り」に登録する機能を追加しました。  
また、帳票の「原本確認」でプレビュー確認できるようになりました。



## 3-2 設定の共通項目を追加

〔帳票作成条件設定〕ダイアログの〔共通〕タブに〔所有者コードを出力する〕チェックボックスを追加し、  
「E5：現地調査の通知」の「所有者ラベル」「立会通知書」等に人物コードを印字できるようにしました。



### 3-3 E 工程の帳票の追加

「E4：調査図素図等の作成」に、農業委員会への提出調書として「不許可転用確認調書（農地分）」を追加しました。

The screenshot shows a software interface with a menu on the left and a form on the right. The menu is titled 'E4：調査図素図等の作成' and contains several items. The item '不許可転用確認調書(農地分)' is highlighted with a red rectangular box. Below the menu is a form with the following fields:

タイプ	標準フォーマット	原本確認
帳票タイトル	地籍調査による地目変更 (農)	初期化
帳票名	不許可転用確認調書(農地分)	
ファイル名	E4_不許可転用確認調書(農地分)_.xlsx	
備考		

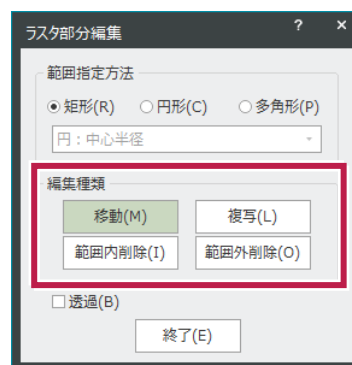
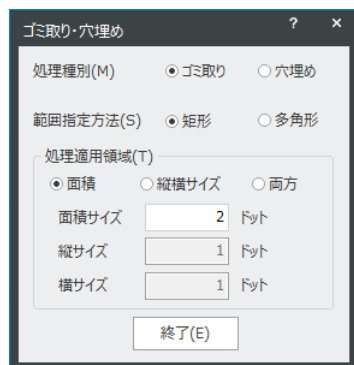
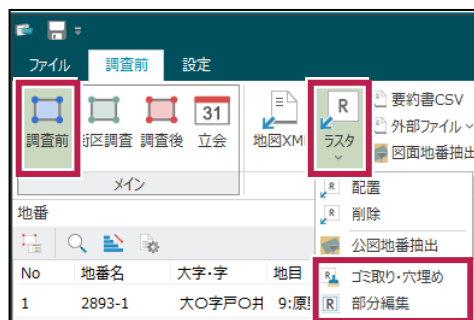
調査後で地目変更されている土地が対象となります。



# 5 公図 CAD（調査前）

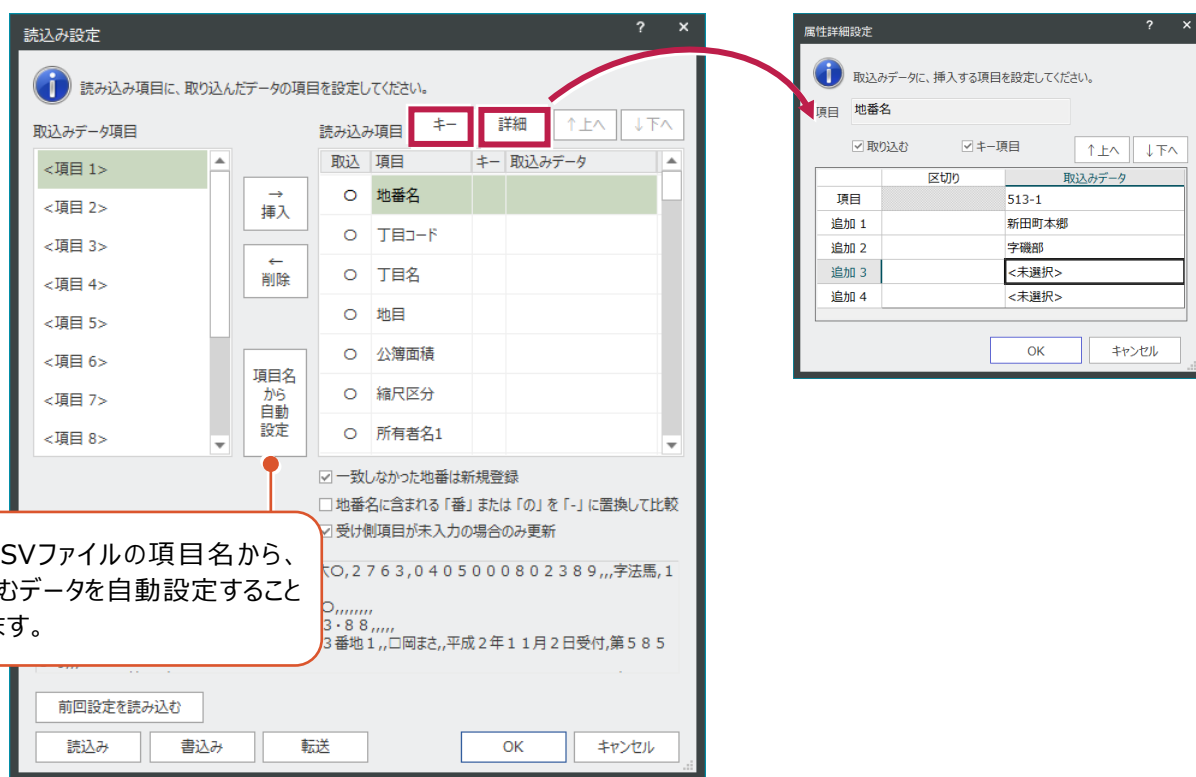
## 5-1 ラスタ画像の編集を強化

【データ読み込み】グループ－【ラスタ】－【ゴミ取り・穴埋め】、【部分編集】を追加して、「公図のラスタ画像編集」として、範囲指定による【ゴミ取り・穴埋め】、および【移動・複写・削除】の機能を追加しました。



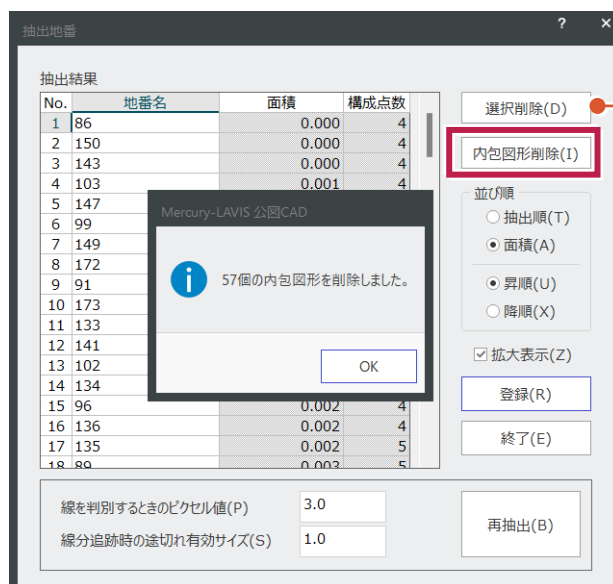
## 5-2 地番属性読み込みの強化

[データ読み込み] グループ - [外部ファイル] - [地番属性CSV] を追加して、地番属性に対して「キー設定」により、外部のCSVファイルやクリップボード読み込みを利用して更新できるようにしました。



## 5-3 内包地番を削除する機能を追加

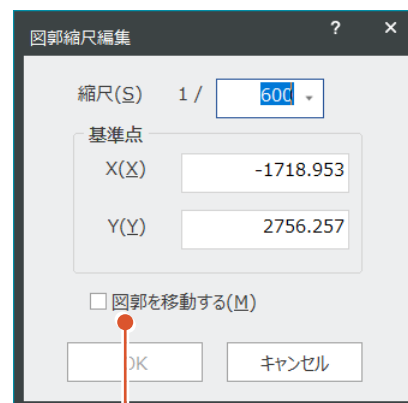
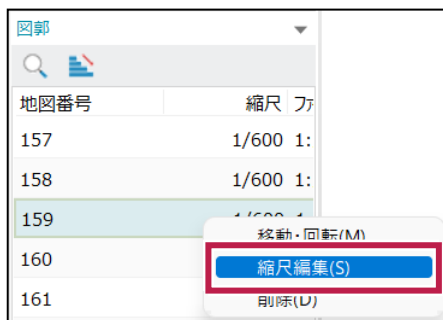
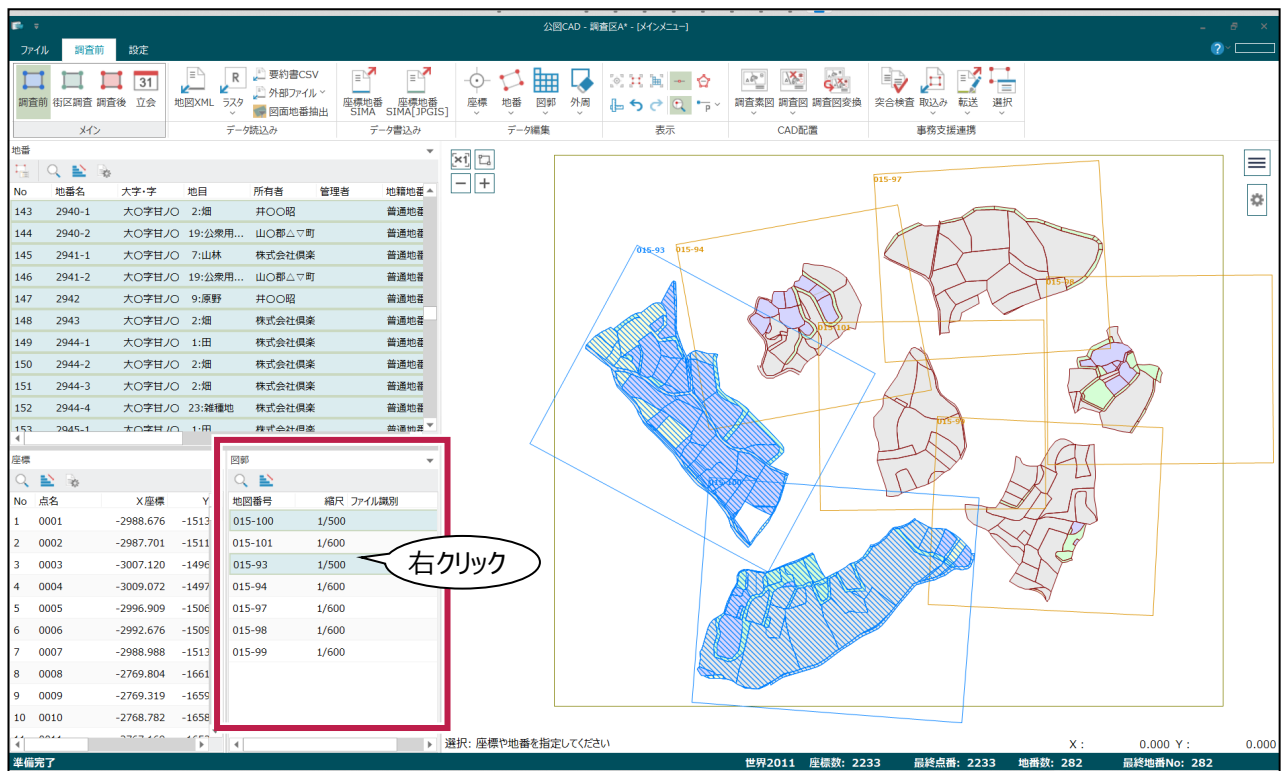
[データ読み込み] グループ - [ラスタ] - [公図地番抽出] を追加して、ラスタ公図を利用して地番をベクタ抽出した結果から、地番内に抽出された微小な地番（図形）を一括で削除できるようにしました。



抽出結果セルを範囲選択して地番内に残った微小な地番（図形）を削除することもできます。

## 5-4 図郭の縮尺編集の強化

図郭リストに「縮尺編集」を追加して、公図の縮尺を統一できるようにしました  
単独または複数の図郭を指定して縮尺の変更と同時に図郭を移動できます。

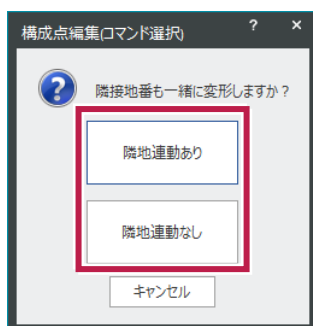


複数の図郭を指定して、変更後に図郭単位で移動することもできます。

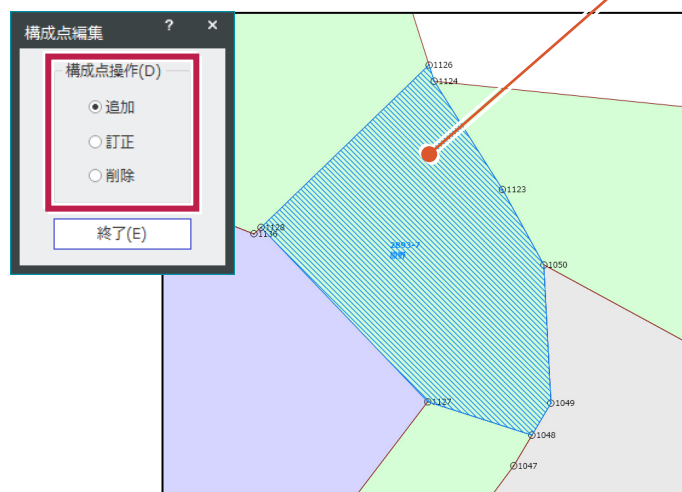


## 5-5 地番形状の編集を強化

[データ編集] グループ - [地番] - [構成点編集] を追加して、地番連動「あり/なし」を選択後に、構成点の編集「追加・訂正・削除」を選択できるようにしました。

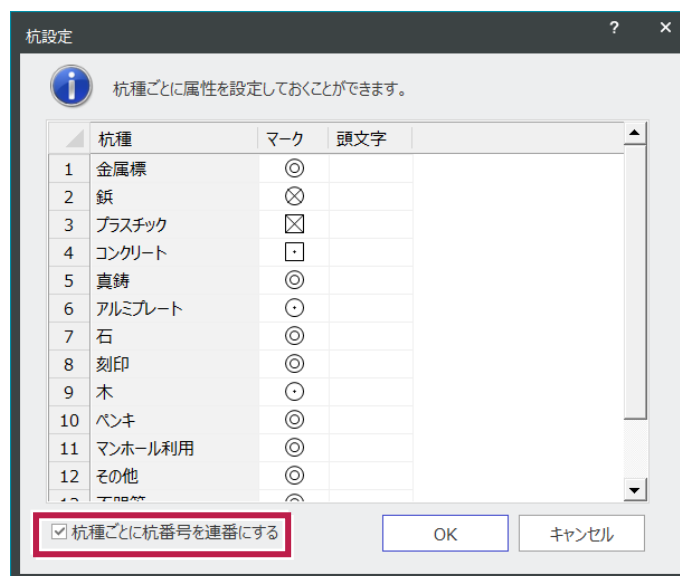


対象の地番を選択してからの操作になります。



## 5-6 座標登録時の杭設定を強化

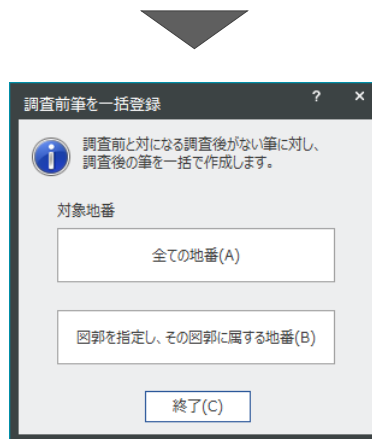
[データ編集] グループ - [座標] - [座標の登録] の [杭設定] ダイアログに [杭種ごとに杭番号を連番にする] チェックボックスを追加しました。



# 6 公図 CAD（調査後）

## 6-1 調査後の筆登録を改良

〔現地調査〕グループ―〔調査前筆を一括登録〕を追加し、調査前の全ての地番を抽出、または公図の図郭指定により属する地番を抽出し、調査後の地番・属性として一括登録できるようにしました。



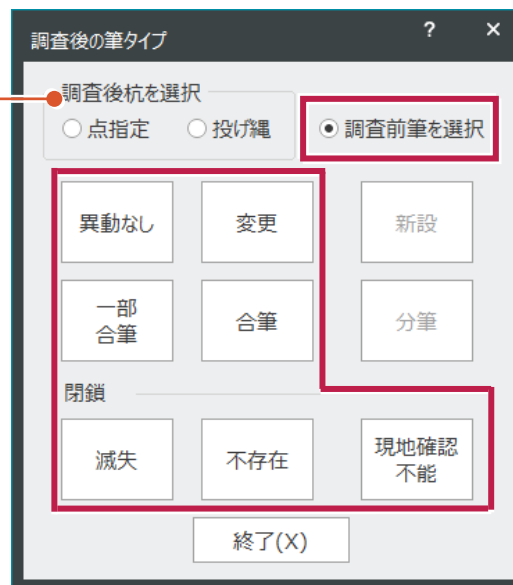
## 6-2 調査後の異動処理を拡張

[現地調査] グループ [筆の登録] で [調査後の筆タイプ] ダイアログに [調査前筆を選択] を追加し、[異動なし] [変更] [一部合筆] [合筆]に加えて、[滅失] [不存在] [現地確認不能] を選択できるようにしました。



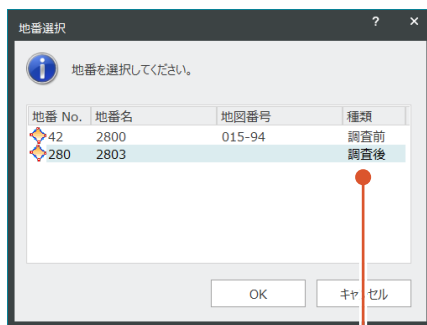
[閉鎖地] コマンドは本機能に統合しました。

調査後の筆の登録は指定する方法で、登録できる異動処理が限定されます。

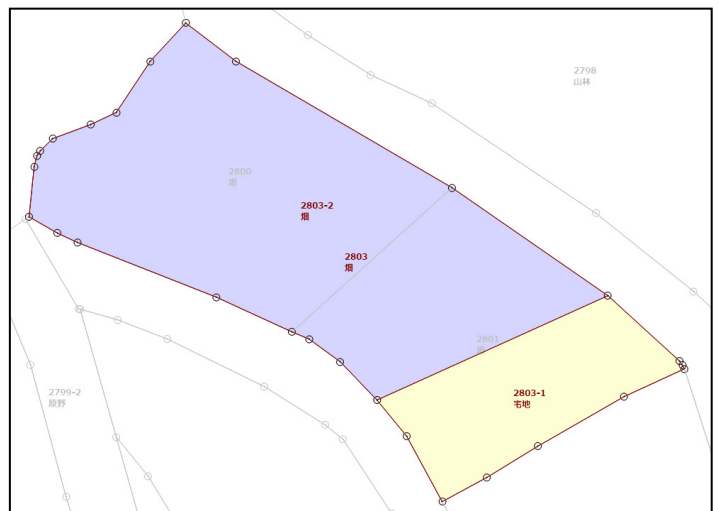


## 6-3 調査後の合筆処理を改良

〔現地調査〕グループ〔筆の登録〕で〔調査後の筆タイプ〕ダイアログで〔調査後杭を選択〕を選択し、調査後の閉合地番を登録した後に、〔一部合筆〕〔合筆〕を処理するようにしました。合筆では、調査前の合筆元を複数選択し、「合筆後の分筆処理」も対応しました。



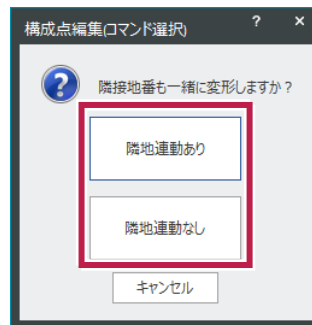
合筆後に分筆して地目変更があった場合、分筆の指定では、調査前後の選択ができます。



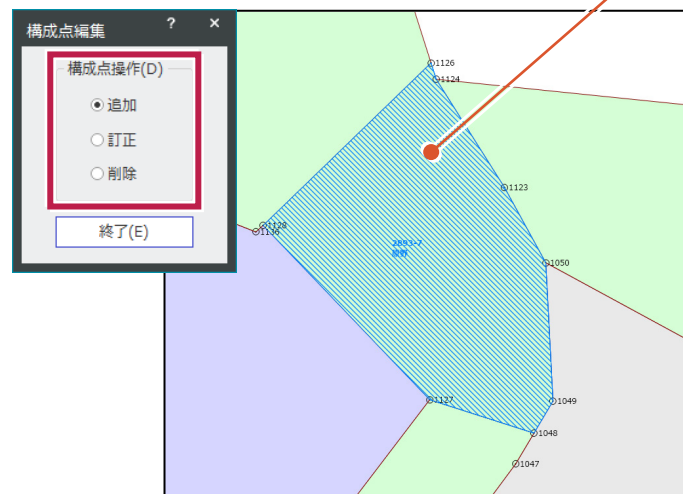
◆内	大〇	字石〇作	2800番	2:畑	466	山〇郡△マ町 大〇2793番地 2	石潭〇幸	大〇	字石〇作	2803-1	3:宅地	0.00	山〇郡△マ町大〇279	石潭〇幸	2801番を合筆 一部地目変更 2803-1, 2803-2に分筆	
										2803-2	2:畑	0.00	山〇郡△マ町大〇279	石潭〇幸	2803から分筆	
◆内	大〇	字石〇作	2801番	2:畑	370	山〇郡△マ町 大〇2793番地 2	石潭〇幸	大〇	字石〇作	2801番	2:畑		370	山〇郡△マ町大〇279	石潭〇幸	2800番に合筆

## 6-4 地番形状の編集を強化

[現地調査] グループ [構成点編集] を追加して、地番連動「あり/なし」を選択後に、構成点の編集「追加・訂正・削除」を選択できるようにしました。

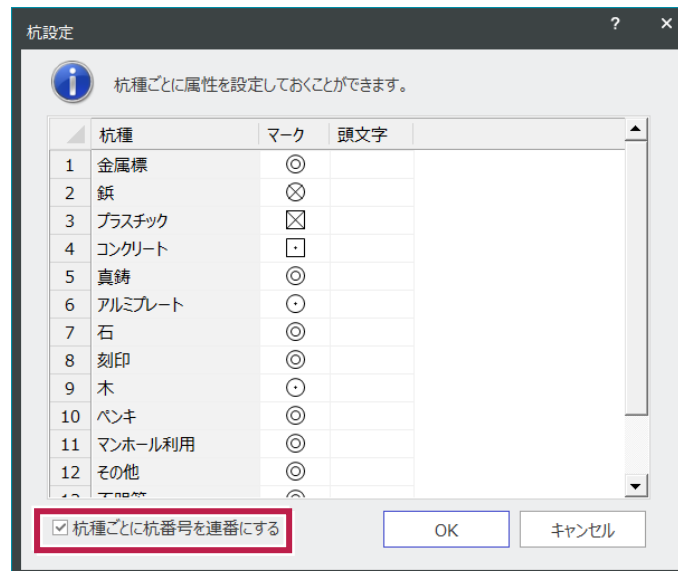
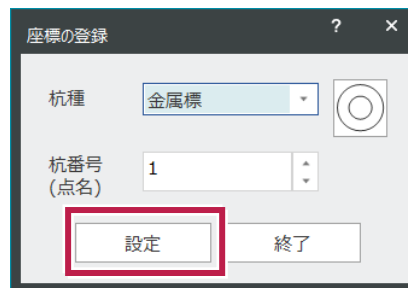
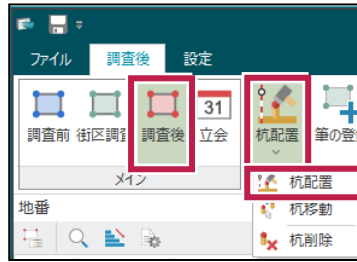


対象の地番を選択してからの操作になります。



## 6-5 座標登録時の杭設定を強化

[現地調査] グループ - [杭配置] - [杭配置] の [杭設定] ダイアログに [杭種ごとに杭番号を連番にする] チェックボックスを追加しました。



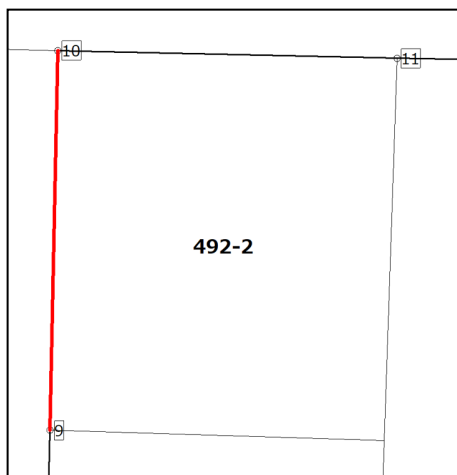
# 7 公図 CAD（街区調査）

## 7-1 所在図作成の機能を強化

【境界調査票】グループ－【境界調査】にて、【所在図を作成する/しない】を選択できるようになりました。また、【境界点名を表示】を追加し、【所在図を再作成】する機能も追加しました。



[モノクロで作成] を ON





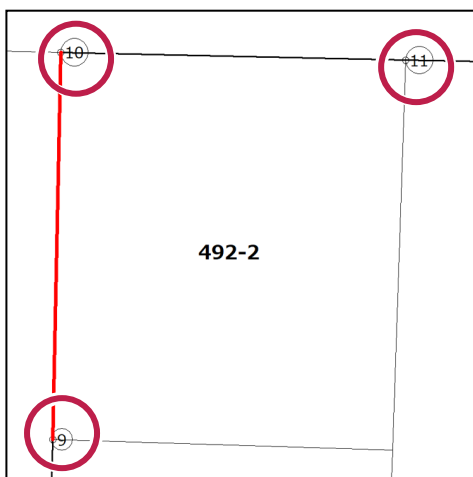
## 7-2 街区境界点名の表示/編集機能を強化

街区境界点名の表示を「境界点名」「枠付き文字（円/矩形）」から選択できるようになりました。

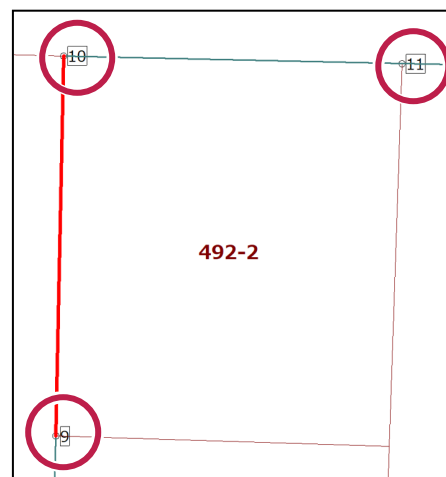
また、自動配置した街区境界点に対して、「街区境界点」グループ-「追加/訂正/削除」を追加して、編集後は命名規則に従い、街区境界点名を付け直すようになりました。



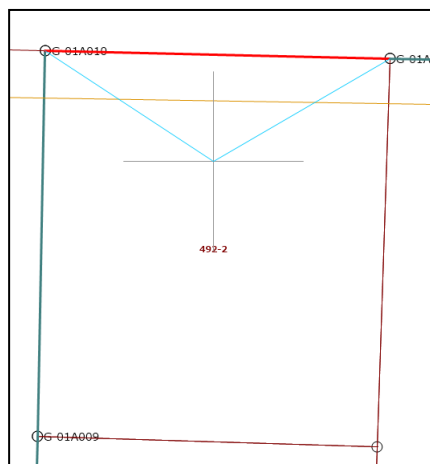
[表示：枠付き文字：円] を ON



[表示：枠付き文字：矩形] を ON



[街区境界点：追加] もしくは [街区境界点：訂正] をクリック



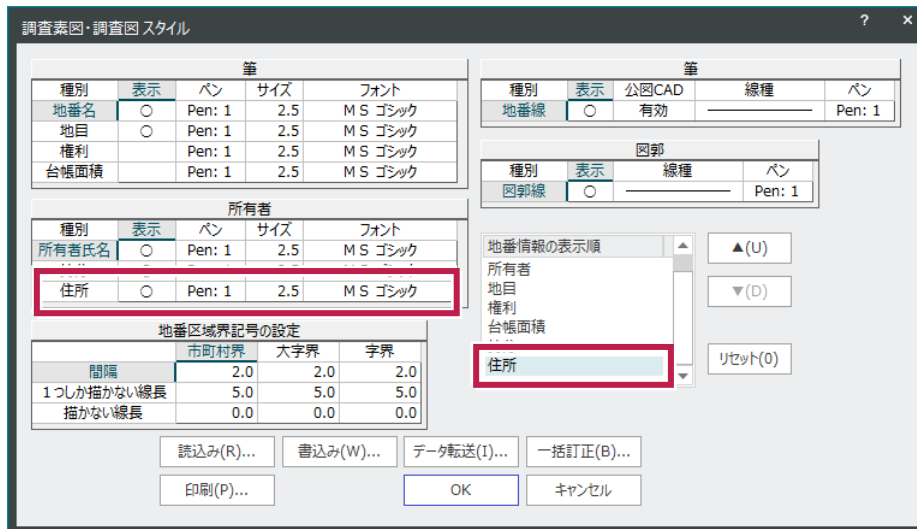
# 8 公図 CAD (調査 CAD)

## 8-1 調査素図の地番内文字項目の追加

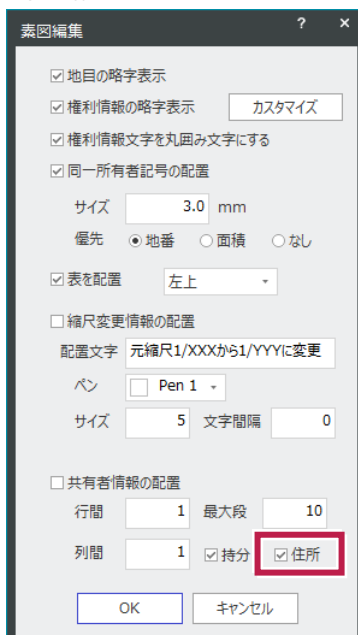
調査素図や調査図の [専用作図] - [調査素図・調査図] - [スタイル] の [所有者] や [素図編集] の [共有者情報の配置] に「住所」を追加しました。また、[並び変更] の [設定] に「住所」を追加しました。



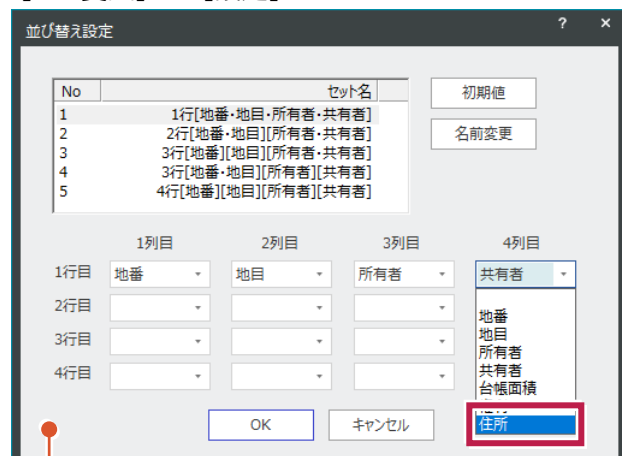
スタイル



素図編集



[並び変更] - [設定]



インプターの [設定] をクリックしてから表示されます。

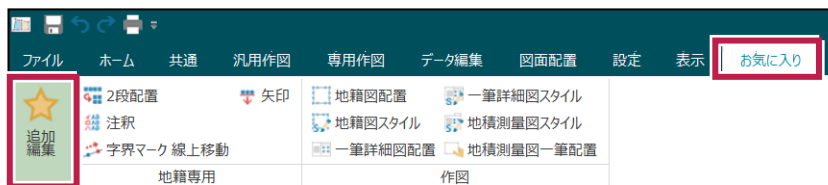
# 9 地籍計算 CAD（共通）

## 9-1 よく使用するコマンドメニューのお気に入り登録

〔メイン〕グループー〔座標管理〕〔地番管理〕およびCADコマンドに〔お気に入り〕タブを追加し、よく使用するコマンドをメニューに登録できるようにしました。カテゴリー毎に1階層をまとめることができます。

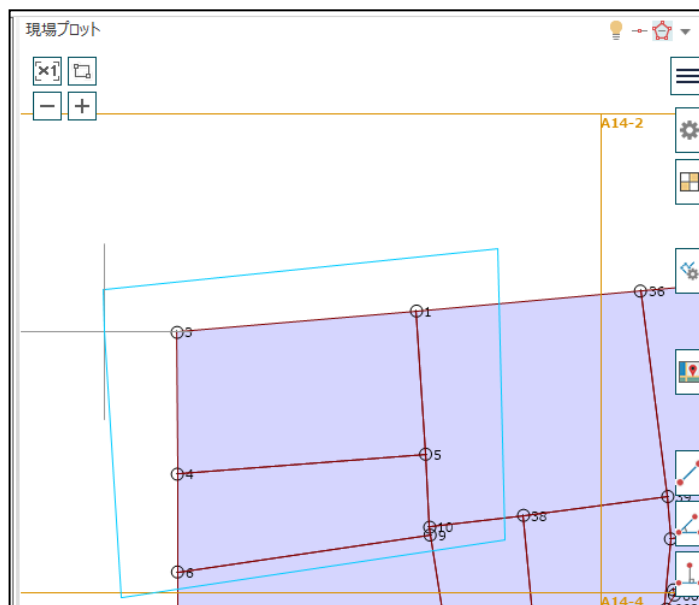


CAD



## 9-2 現場プロットに座標・地番の選択モード「多角形イン」を追加

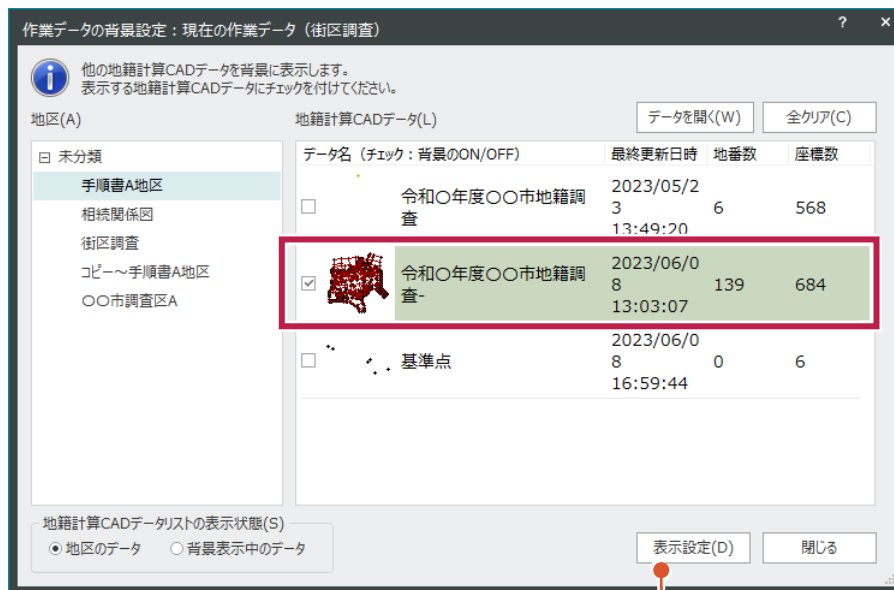
現場プロットのドッキングウィンドウに、選択モード「多角形イン」を追加しました。  
「座標や地番を多角形の範囲で選択」することができます。



## 9-3 現場プロットに地籍計算 CAD データの背景表示機能を追加

現場プロットのメニューに「地籍計算CADデータの背景表示」を追加しました。

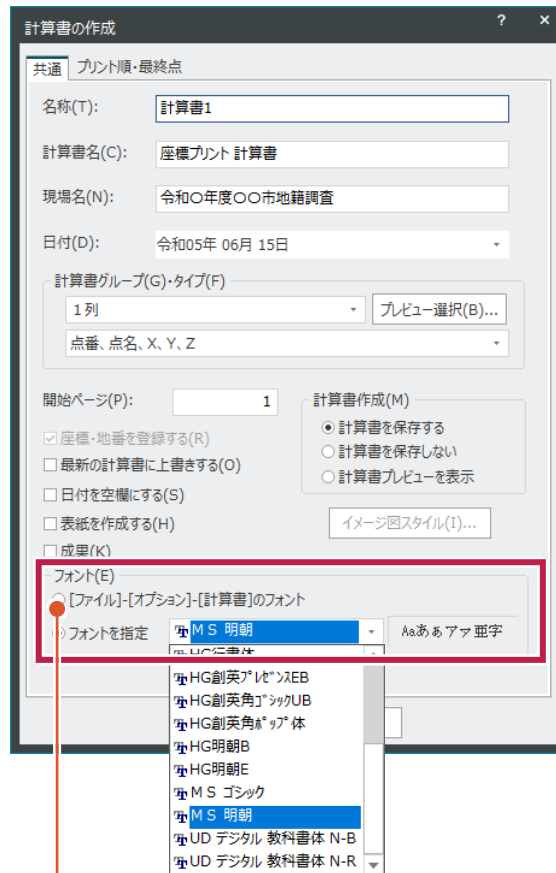
計算CADで保存されている複数の作業データ（座標・地番データ）を、参照モードで背景に描画します。



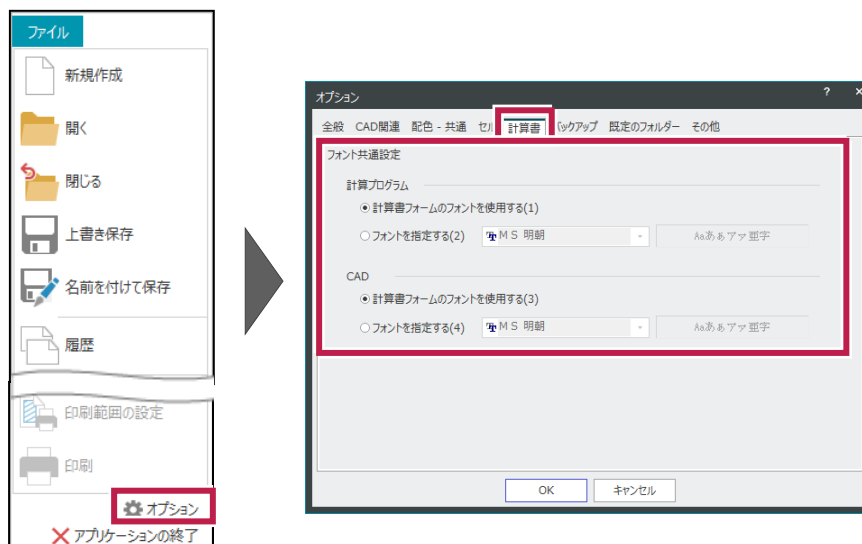
[表示設定] で座標点の点名や地番名などを表示するか否かを設定できます。

## 9-4 計算書のフォント指定

【計算書の作成】時に文字フォントを変更して作成できるようにしました。



【ファイル】 - 【オプション】 - 【計算書】タブで基本フォントを指定できます。  
CADの表で使用するフォントはここで設定します。



# 10 地籍計算 CAD

## (座標管理・地番管理)

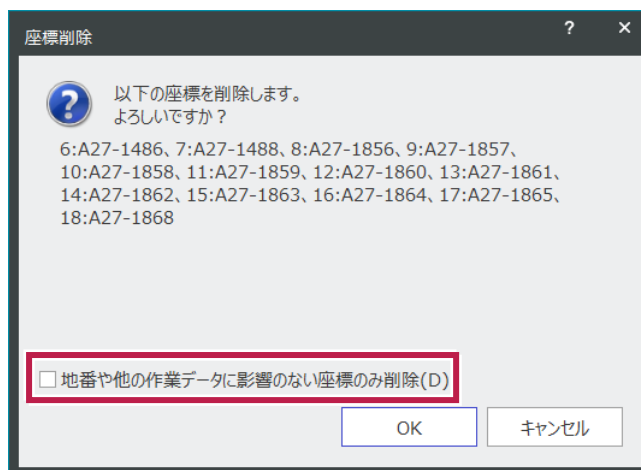
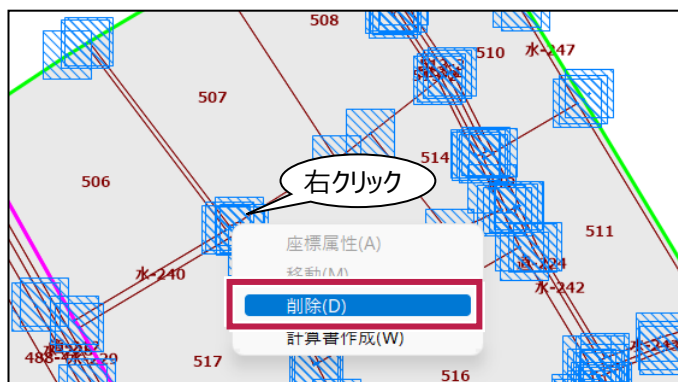
### 10-1 座標削除の判断を強化

座標リストや現場プロットから範囲選択で複数点削除する場合、[座標削除] ダイアログに「地番や他の作業データに影響のない座標のみ削除」のチェックを追加しました。



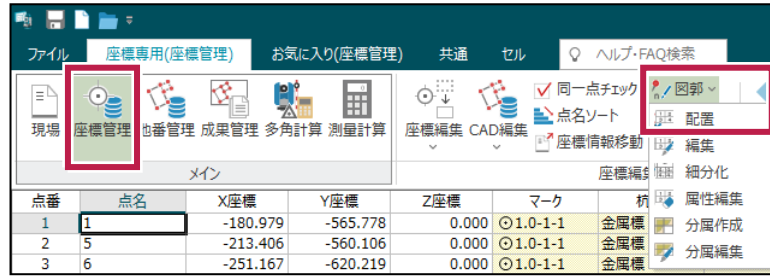
点番	点名	X座標	Y座標	Z座標
1	A27-0358	138787.533	24521.378	0.000
2	A27-0359	138788.810	24520.092	0.000
3	A27-0360	138790.780		
4	A27-0554	138992.425		
5	A27-1068	138893.308		
6	A27-1486	139183.732		
7	A27-1488	139186.829		
8	A27-1856	138675.747		
9	A27-1857	138679.871		
10	A27-1858	138694.127		
11	A27-1859	138694.969		
12	A27-1860	138704.116		
13	A27-1861	138707.468		
14	A27-1862	138716.667		
15	A27-1863	138719.950		
16	A27-1864	138723.793		
17	A27-1865	138725.837		
18	A27-1868	138729.518		
19	A27-1869	138731.072		

A context menu is open over row 12, with '削除(D)' (Delete) highlighted in a red box. A callout bubble says '右クリック' (Right-click).



## 10-2 図郭配置時に図郭名を自動取得する機能を追加

[メイン] グループ - [座標管理] [地番管理] の [座標編集] グループ - [図郭] - [配置] で図郭を配置する際に、登録された測点名称に使用されている区画番号を自動で取得して、図郭を自動配置できるようにしました。



座標リスト



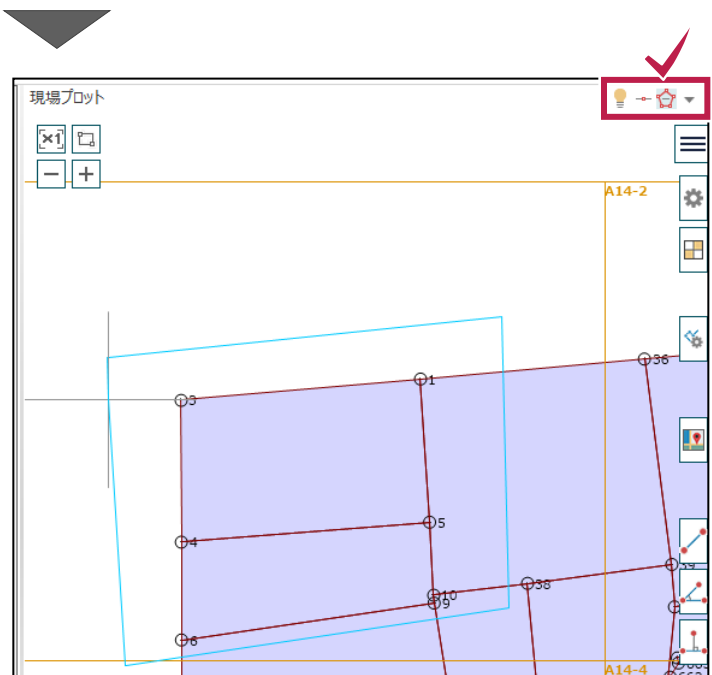
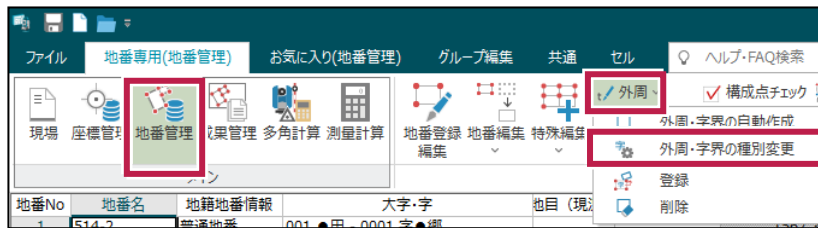
31	PP-F111-2	141446.689	23099.371
32	PP-F111-3	141446.497	23038.584
33	PP-F111-1	141445.405	23131.515
34	PP-F111-4	141450.423	22998.967
35	PP-F111-5	141450.915	22961.990
36	PP-F111-8	141478.592	22912.439
37	PP-F111-7	141451.076	22932.621
38	PP-F111-9	141493.047	22900.949
39	N交11	141396.175	22729.551
40	NP-F12-1	141340.905	22775.480
41	NN-F12-1	141317.544	22733.925

測点名称から区画番号を取得します。



## 10-3 外周・字界の種別変更の強化

[地番管理] の [地番編集] グループ - [外周] - [外周・字界の種別変更] で、外周・字界を指定する際に、多角形での領域選択（多角形イン）をできるようにしました。選択モードは現場プロットのドッキングウィンドウに追加しました。

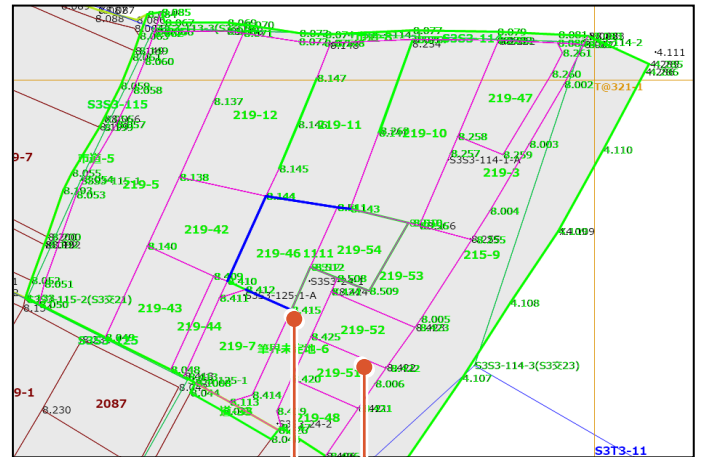
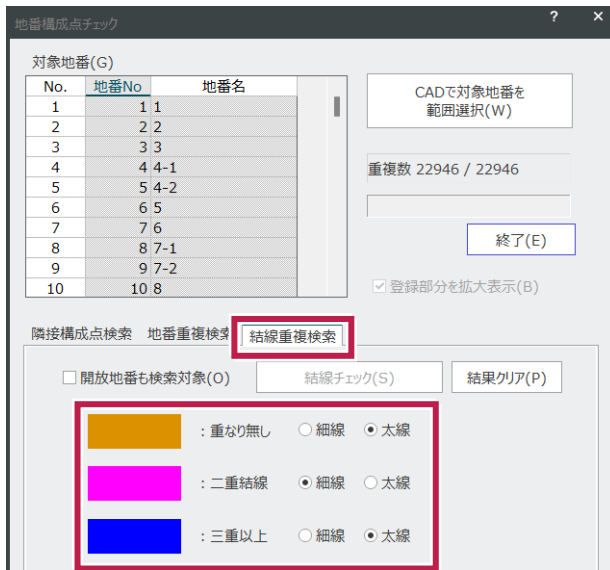
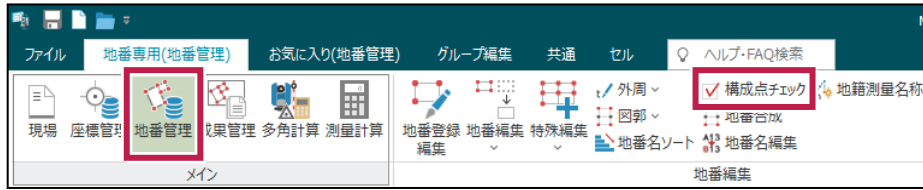


公図CADにも [調査前] - [データ編集] - [外周] に [外周・字界の種別変更] があり、[多角形イン] で指定できます。

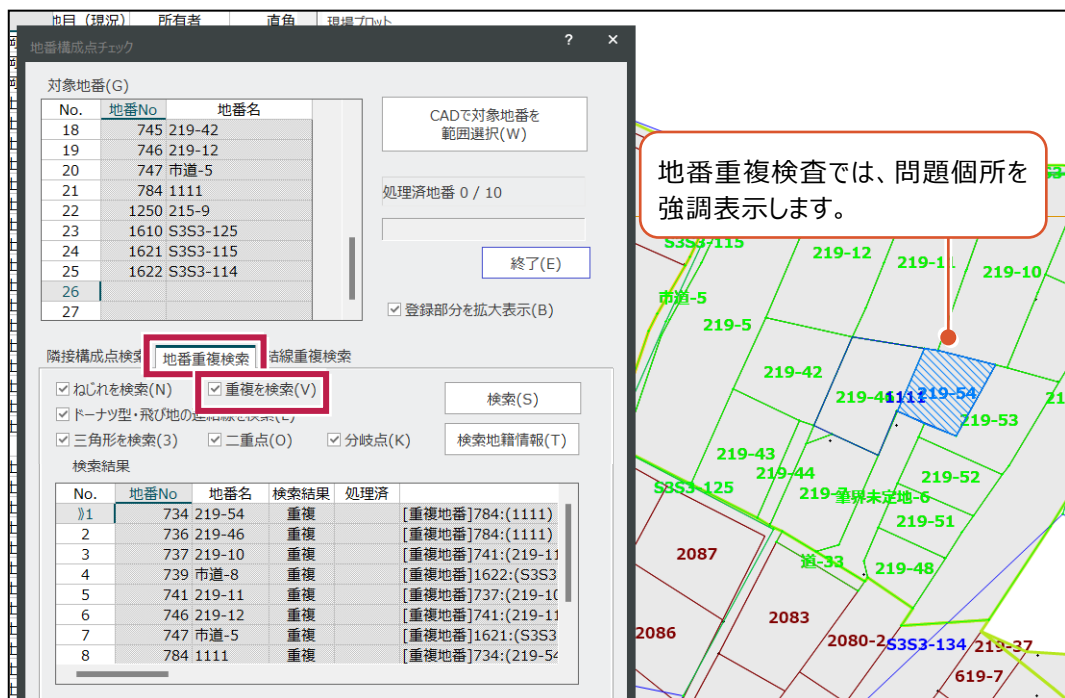


# 10-4 結線重複の検査を強化

[地番編集] グループ [構成点チェック] の [結線重複検索] タブで [重なり無し] の表現を追加しました。  
 [二重結線] [三重以上] と合わせて3種類の検査となり、それぞれ [細線] [太線] の設定を設けました。



結線の重複箇所を太線・細線の表現で明確にします。



地番重複検査では、問題箇所を強調表示します。

# 10-5 ST 路線と構成点の名称付与

[地番編集] グループ - [地籍測量名称] を追加して、開放地番（求積属性・路線）となるST路線に対して、地籍測量の命名規則に従い図郭情報から地番名と構成点名を変更できるようにしました。

The screenshot shows the software's main menu with '地籍測量名称' (Land Registry Survey Name) highlighted. Below the menu is a table of land parcels and a field plot. The plot shows a network of routes (10-14) and points (A1-A3, T1-T20) overlaid on a grid of parcels (H14-1, H14-2, H14-3).

地番No	地番名	求積属性	大字・字
1	10	路線1	
2	11	路線1	
3	12	路線1	
4	13	路線1	
5	14	路線1	
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			

**SIMA等でST路線を取り込んだ場合に有効です。求積属性は路線1～3が対象となります。**

**地籍測量路線名称設定**

路線名の決定方法(W)

- 地籍式の構成点名から
- 両端の点名から
- 登録してある図郭から

頭文字(H)

ハイフン区切り(D)  あり  なし

工程(P) 細部図根測量(多角法) : F

次数(N)

開始管理番号(S)

OK キャンセル

**地籍測量路線名称設定確認**

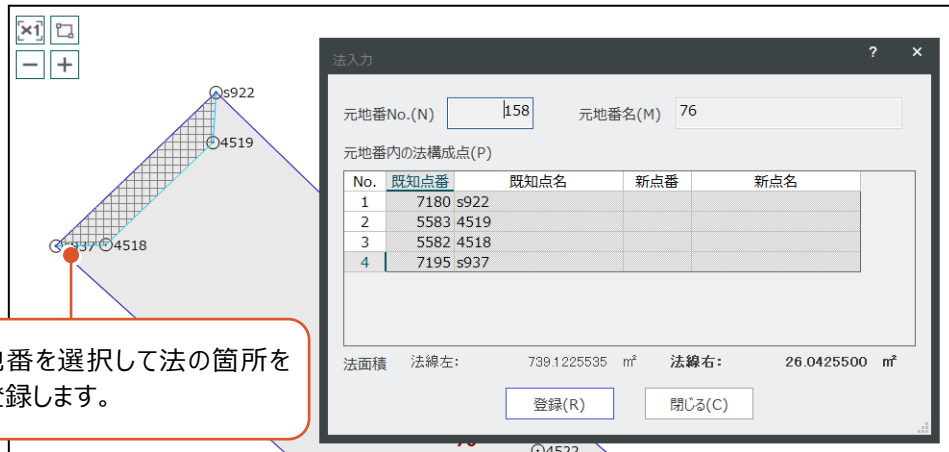
路線名付け替え内容(C)  選択路線を拡大表示(W) 戻る(T) 赤字 : 現場内で重複している路線名 書字 : 記載例の路線名命名規則に沿わない路線名

No.	付け替え	路線No	元路線名	変更路線名	方向反転
1	<input type="checkbox"/>	10		DHF11	
2	<input type="checkbox"/>	11		HHF11	
3	<input type="checkbox"/>	12		HHF12	
4	<input type="checkbox"/>	13		HHF13	
5	<input type="checkbox"/>	14		HHF14	

一括訂正(A)...  構成点名を付け直す(P) 交点設定(X)... OK キャンセル

## 10-6 確定測量の成果対応

〔地番編集〕グループ―〔特殊編集〕―〔法入力〕〔法編集〕〔法削除〕を追加して、「換地を伴う土地改良事業の確定測量」に対応しました。「法・テラスの登録」と「地積測定の種類調書」に対応しています。



Page

### 地積測定成果簿

地区名：【902】山階の一部 大字：015：大〇 字：0001：字福〇井〇

No.	地番	地目	旧地目	分属	地図番号	面積 (m <sup>2</sup> )
1	76	田				765.16
		テラス				450.22
		法				314.94

Page

### 地目別集計表

地区 【902】山階の一部

コード	地目	筆数	面積 (m <sup>2</sup> )	テラス面積 (m <sup>2</sup> )	法面積 (m <sup>2</sup> )
1	田	1	765.16	450.22	314.94
	計	1	765.16	450.22	314.94

## 10-7 簡易抽出によるあいまい検索

[表示] グループ - [簡易抽出] を追加して、従来の [地番の抽出] とは別に、地番の「あいまい抽出」に対応しました。5種類の地番属性の「項目」「値」「抽出条件」を使用して地番を検索できるようにしました。

A screenshot of the '簡易抽出' (Simple Extraction) dialog box. It contains five search items (項目1 to 項目5) with dropdown menus for values and checkboxes for search conditions. Item 1: '地番名' (Land Parcel Name) is '12', condition is '~を含む' (Contains). Item 2: '地目 (現況)' (Land Use (Current)) is '3:宅地' (Residential), condition is '完全一致' (Exact Match). Item 3: '大字・字' (Township/Block) is '001 ●田 - 0002 字〇西', condition is '後方一致' (Trailing Match). Item 4 and Item 5 are empty. At the bottom are buttons for '抽出' (Extract), '解除' (Cancel), and 'キャンセル' (Close). A red dot points to the '抽出' button.

最大5項目をまとめて指示できます。

# 11

## 地籍計算 CAD（成果管理）

### 11-1 ST 路線のファイリング

〔メイン〕グループ－〔成果管理〕に「路線」の分類を追加しました。開放地番（求積属性：路線）は「路線」の分類で管理され、Linkフォルダの管理は「地番」グループと同じフォルダで行います。



路線はSIMAファイルのST路線が対象となります。

〔成果ファイル〕－〔一括取込み〕では、地番・路線の名称と、PDF等のファイル名称でリンクします。

# 12 地籍計算 CAD（多角計算）

## 12-1 手簿データを対回と放射（単回）で分割

電子野帳取込の〔手簿データ〕タブー〔データ書込み〕と、基準点測量の〔手簿〕タブー〔データ書込み〕に〔手簿データ分割・抽出〕を追加して、1つの野帳データに対回と放射（単回）の観測が混在する場合、器械点ごとの点名数の判定に従って、対回と放射（単回）グループで作業データを分割できるようにしました。



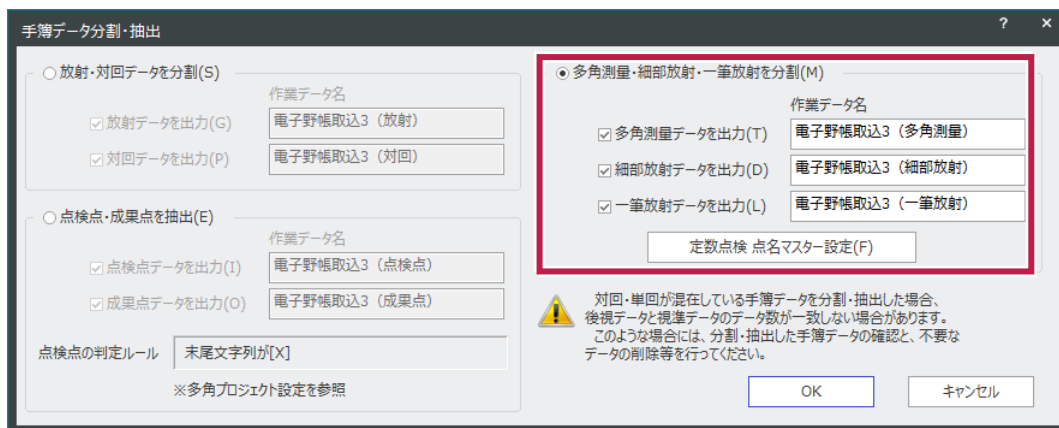
## 12-2 手簿データを成果と点検で分割

電子野帳取込の [手簿データ] タブー [データ書込み] と、基準点測量の [手簿] タブー [データ書込み] に [手簿データ分割・抽出] を追加して、1つの野帳データに成果観測と点検観測が混在する場合、多角プロパティの「点検点の判定（例：末尾がX）」に従って、作業データを分割できるようにしました。



## 12-3 手簿データを多角測量・細部放射・一筆放射で分割

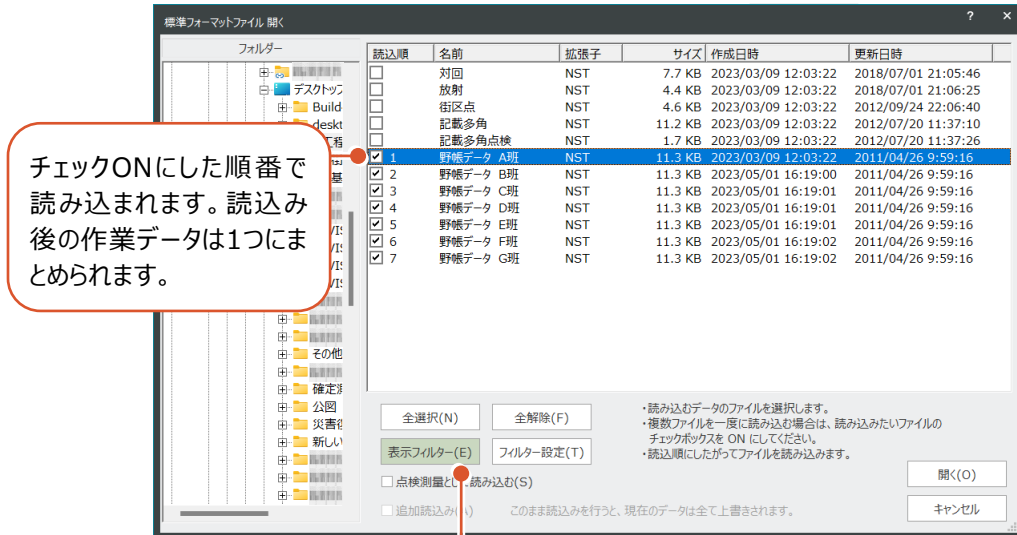
電子野帳取込の [手簿データ] タブー [データ書込み] と、基準点測量の [手簿] タブー [データ書込み] に [手簿データ分割・抽出] を追加し、判定基準に従って、多角測量・細部放射・一筆放射に作業データを分割できるようにしました。分割後は [メイン] グループー [多角計算] - [作業データ移動] で指定したプロジェクトに移動できます。





## 12-4 電子野帳取り込みのファイル数の拡張

〔電子野帳取込〕と〔基準点測量〕の「標準フォーマットファイルの取り込み」で、野帳ファイルを500ファイルまで読み込めるように拡張しました。複数の担当者が観測したデータを1つに取りまとめて作業することができます。



一覧に表示する拡張子を絞り込むことができます。

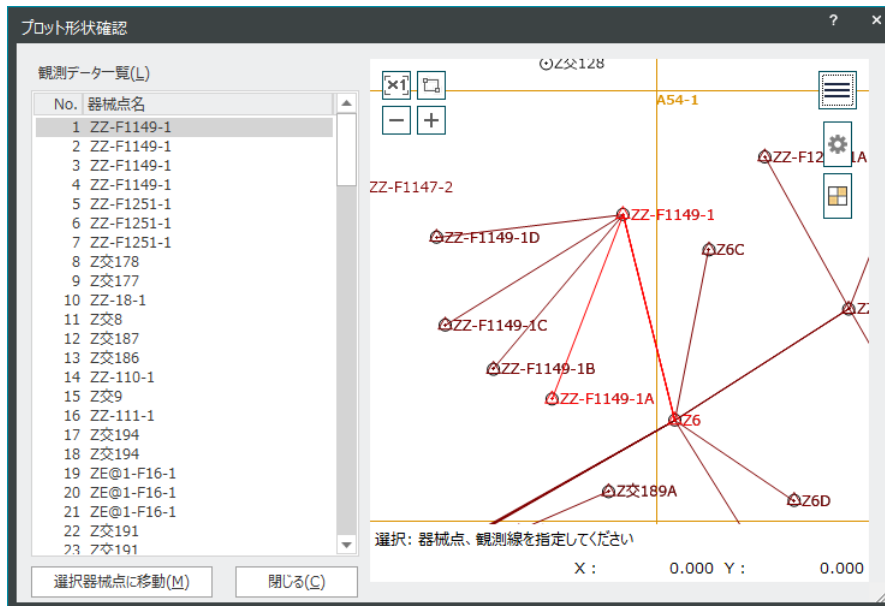
## 12-5 制限値のデータ確認を強化

電子野帳取込の〔手簿データ〕タブー〔データ確認〕－〔制限値〕と、基準点測量の〔手簿〕タブー〔データ確認〕－〔制限値〕で〔制限超えのみ表示〕を追加し、制限オーバーのみの内容で絞り込み表示できるようにしました。また、クリップボードへの出力に対応しました。



## 12-6 観測データのプロット形状確認を強化

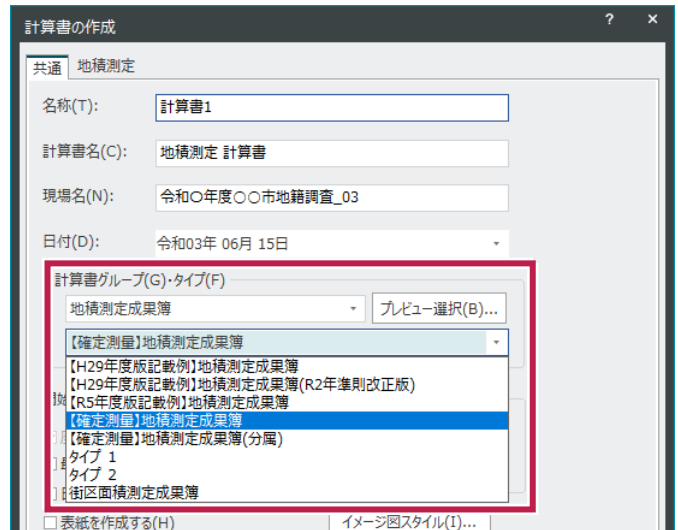
電子野帳取込の [手簿データ] タブ - [データ確認] と、基準点測量の [手簿] タブ - [データ確認] で [プロット形状確認] を追加し、観測形状の確認ができるようにしました。



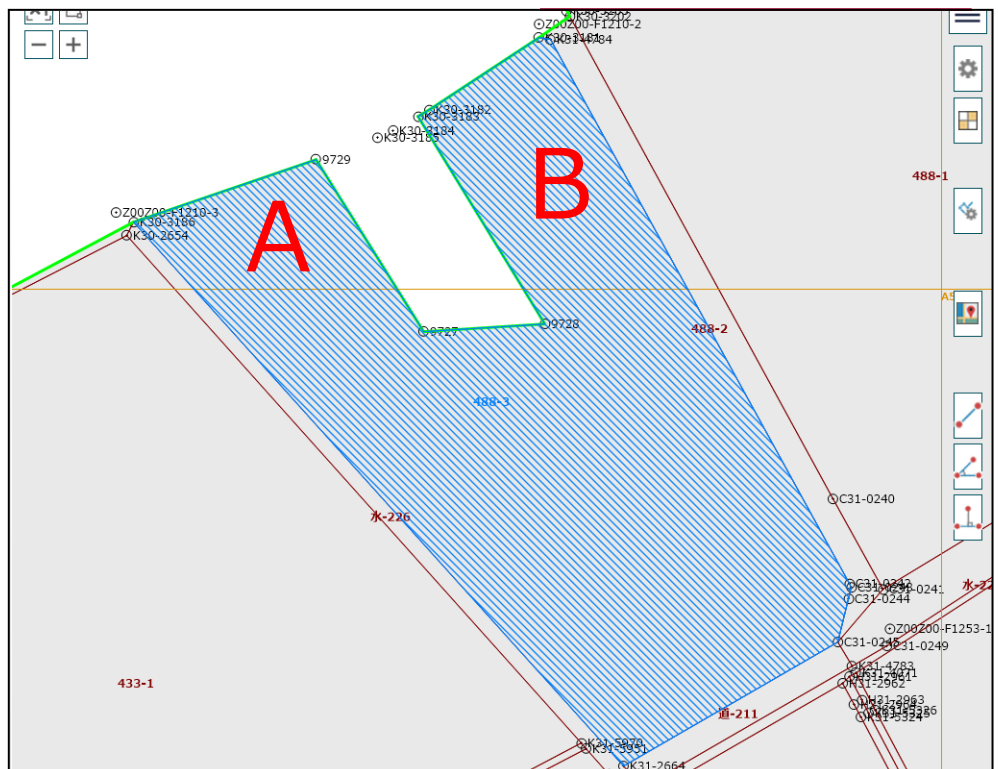
# 13 地籍計算 CAD (地積測定)

## 13-1 地積測定成果簿の分属処理対応

図郭に同地番が分かれる場合、[地積測定成果簿]の計算書で分属処理のアルファベット表記に対応しました。



6181.633	ため池	A42-4(1/4),	A43-3(2/4),
352.902	公衆用道路	A42-4(1/2),	A52-2(2/2)
4418.359	学校用地	A42-4(1/2)A,	A42-4(1/2)B,
344.709	堤	A43-3(1/2),	A53-1(2/2)
1312.771	田	A52-2(1/2),	A53-1(2/2)

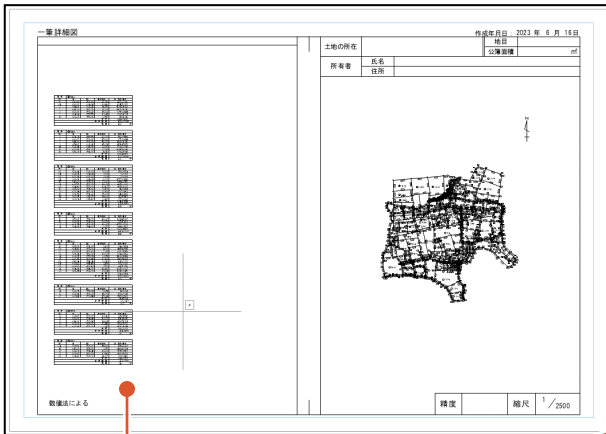


# 14 地籍計算 CAD (CAD)

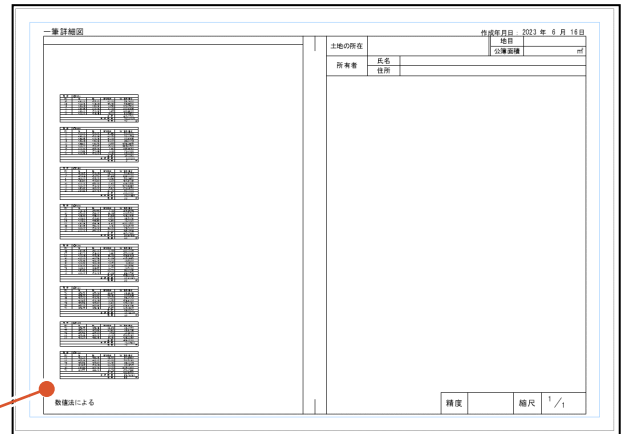
## 14-1 一筆詳細図の求積表の配置方法を変更

一筆詳細図で求積表を配置する様式の場合、求積表の領域内のすべての範囲を活用して、次列に求積表を配置する方法に変更しました。

1 ページ目

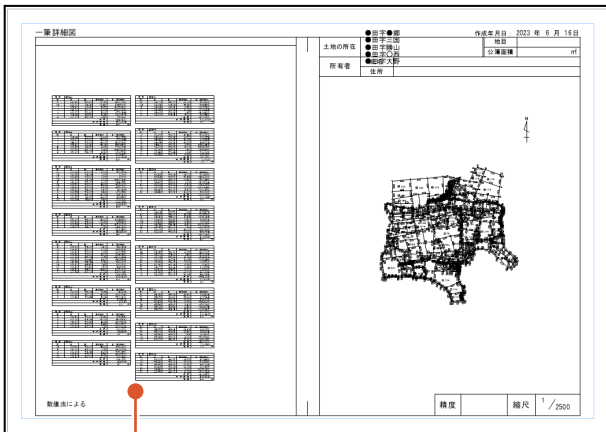


2 ページ目

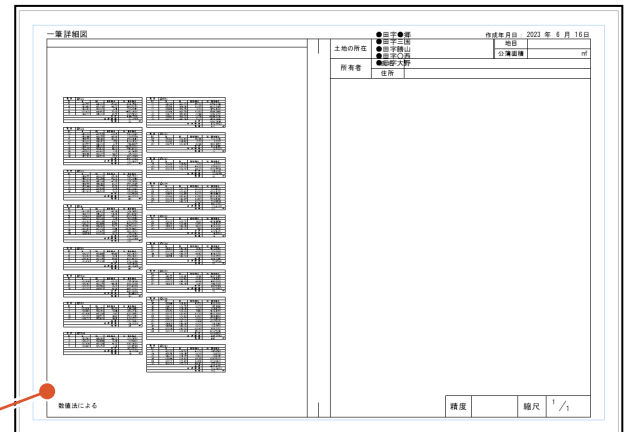


従来は、求積表が1ページに収まらない場合、次ページに配置していたため、余白が多く、ページ数が増えていました。

1 ページ目



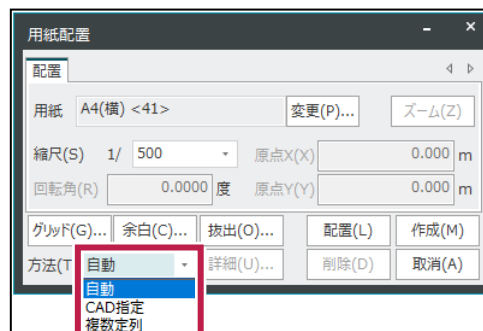
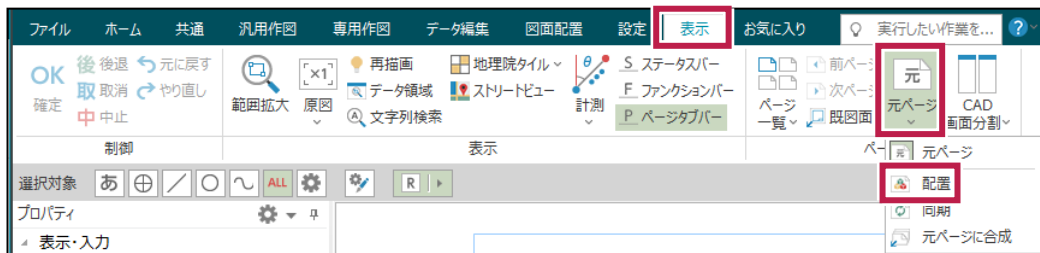
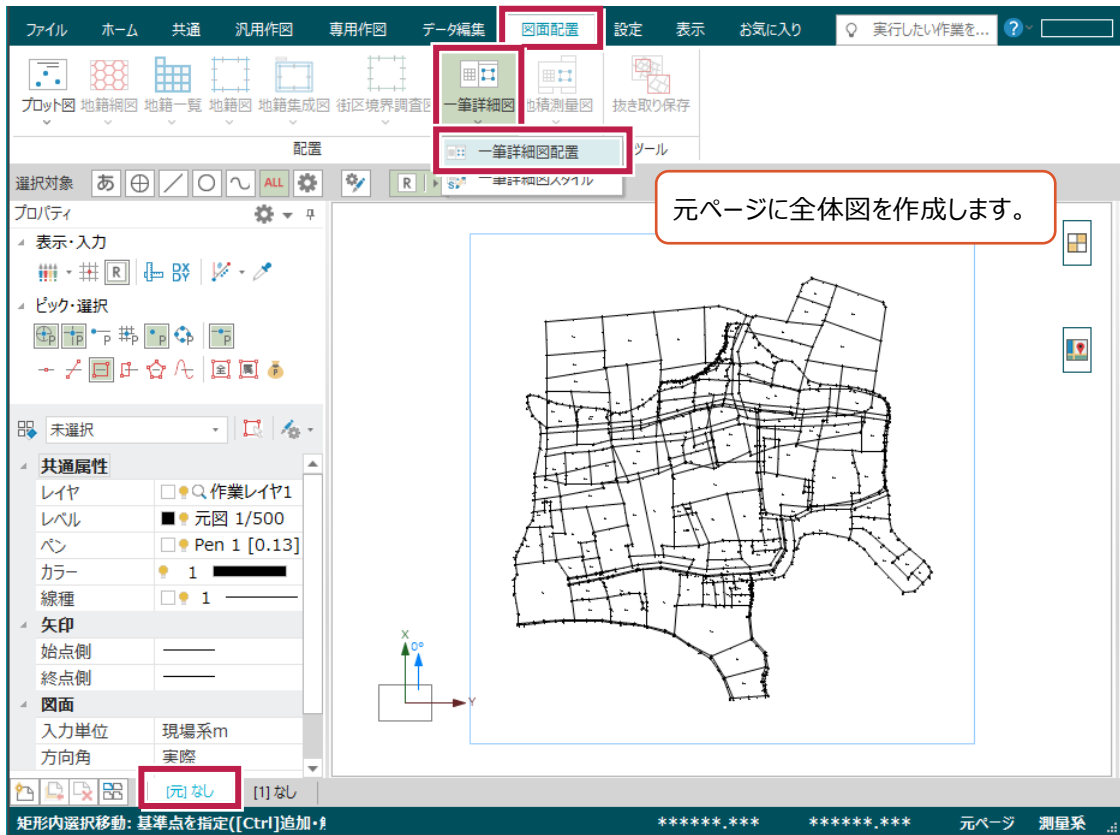
2 ページ目



1ページ目の表エリア全てを活用するように、横方向に表が並んで配置されるようになりました。

## 14-2 一筆詳細図の元ページ配置に対応

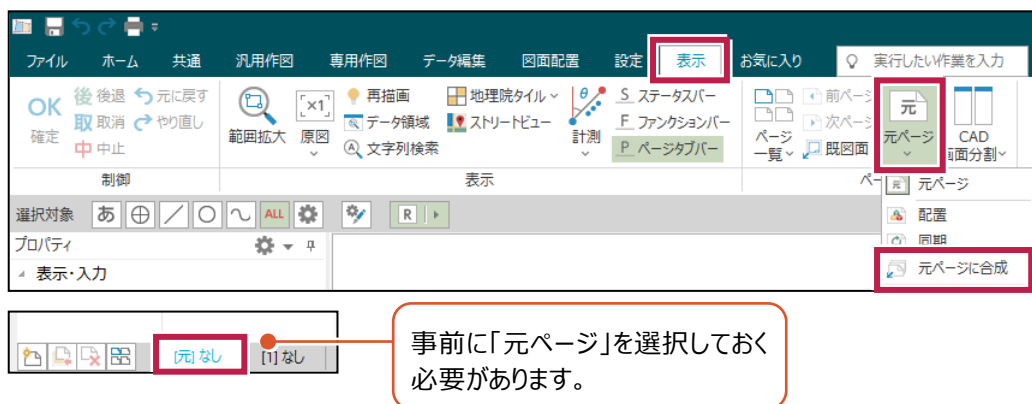
元ページに一筆詳細図を配置できるようになりました。元ページに配置した全体図から [表示] タブ - [ページ] グループ - [元ページ] - [配置] で各ページへ抜き取ることができます。抜き取る方法として [複数定列] も利用できます。



抜き出した各ページの図面は、元ページの編集と同期することができます。

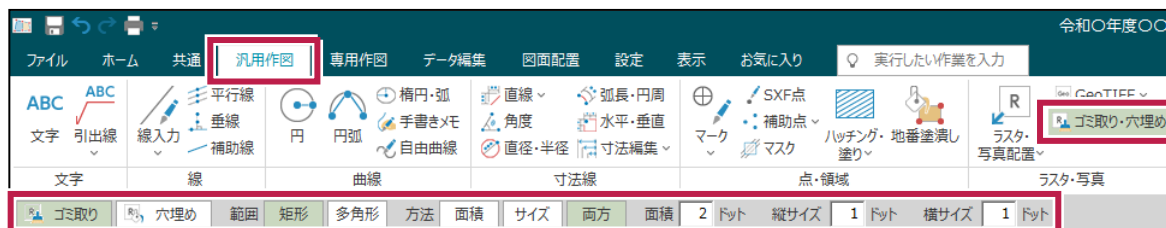
## 14-3 元ページを利用した図面合成

元ページから配置し、各ページで編集した後の図面を選択して再び「元ページ」に取り込んでページを合成する機能を追加しました。元ページへの合成後は「表示」タブ - 「ページ」グループ - 「元ページ」 - 「同期」を使用できます。



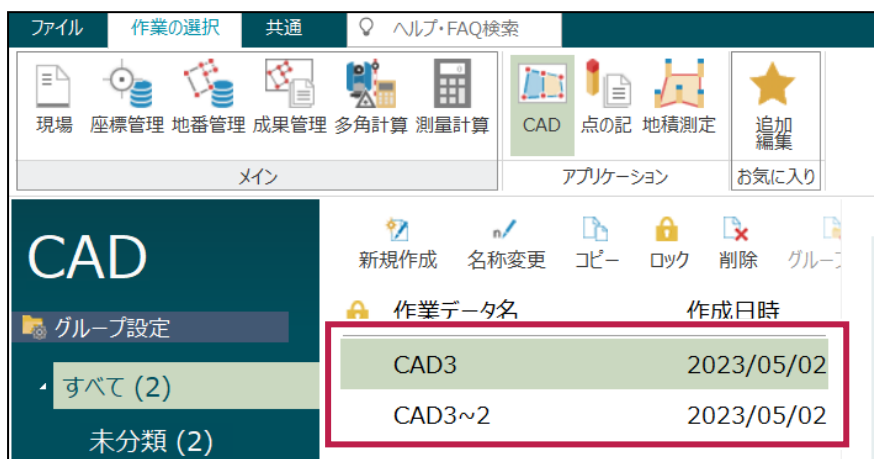
## 14-4 ラスタ画像の編集を強化

図面に配置したラスタ画像の編集機能として、範囲指定による「ゴミ取り・穴埋め」の機能を追加しました。



## 14-5 図面ページ数制限の緩和

筆界点番号図および地籍図の「図面配置」タブ - 「配置」グループ - 「地籍図」 - 「地籍図配置」で、100ページ以上の一括作図に対応しました。100ページ以降の図面は別の作業データとして登録されます。



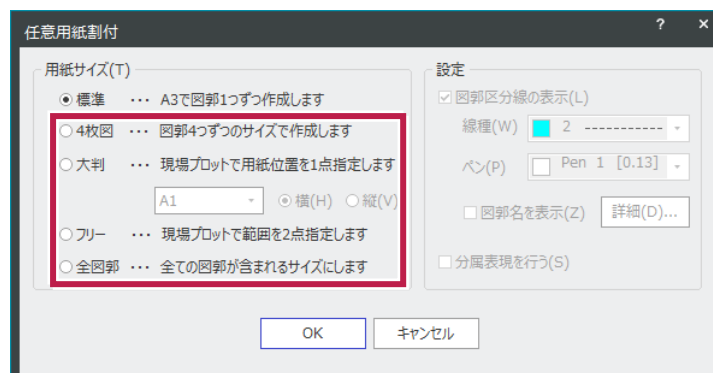
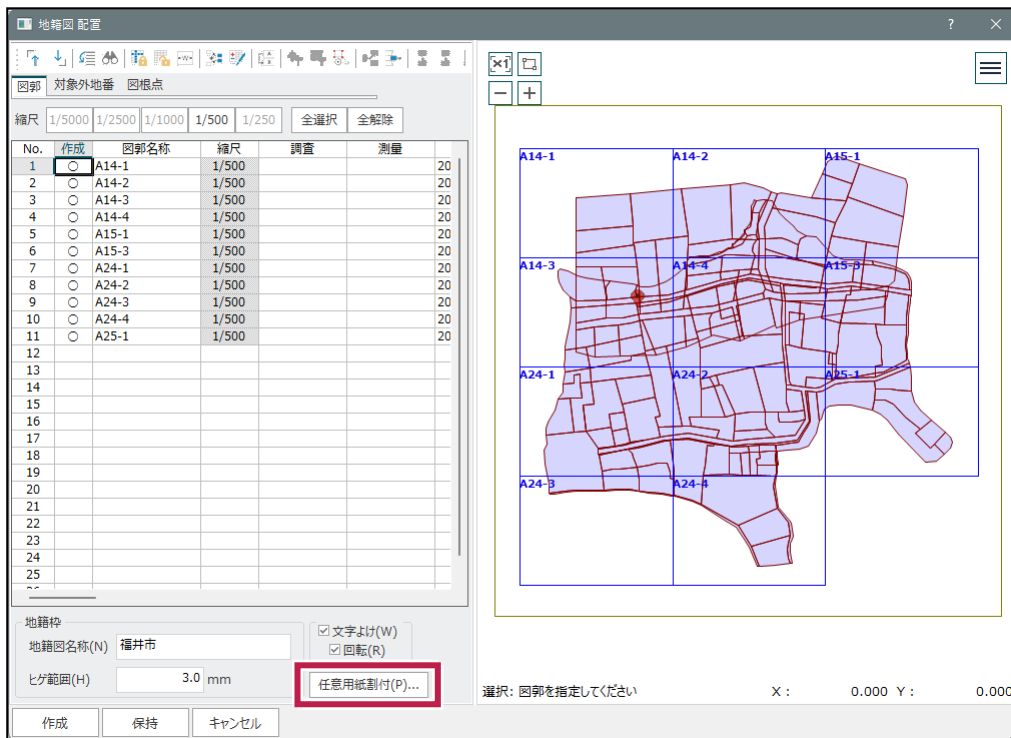
## 14-6 地籍図一覧図の図枠外周を赤色にする

地籍調査記載例の対応のため、[図面配置] タブ - [配置] グループ - [地籍一覧] - [地籍一覧スタイル] に「図枠外周のカラーを「赤」にする」の設定を用意しました。



## 14-7 地籍図等の4枚図配置に対応

【図面配置】タブー【配置】グループー【地籍図】ー【地籍図配置】に【任意用紙割付】を追加して、筆界点番号図および地籍図で「縮尺は変えずに大きな用紙サイズ」に変更し、閲覧用として複数の図面（地籍図・筆界点番号図の図郭）を1ページに配置する機能を追加しました。





# 14-8 地籍図等の文字の設定項目を拡張

筆界点番号図および地籍図で [図面配置] タブ - [配置] グループ - [地籍図] - [地籍図スタイル] の [地番] に [地番名を半角文字で作成]、[測点] に [測点名を半角文字で作成] を追加し、地番名・測点名の文字に対して、全角/半角を切り替えられるようにしました。既存図面のスタイル変更で再作成の対象となります。



地籍図 スタイル - [No.1]: 出荷時設定 (筆界点番号図)

**地番** 測点 地番情報 項目順序 地籍図枠

地番名				地番結線				
属性	表示	ペン	サイズ	フォント	表示	地番管理	線種	ペン
調査地区界		Pen: 1	3.0	M S ゴシック	○	無効	—————	Pen: 1
市町村界		Pen: 1	3.0	M S ゴシック	○	無効	○○○○○	Pen: 1
大字界		Pen: 1	3.0	M S ゴシック	○	無効	○○○○○	Pen: 1
字界		Pen: 1	3.0	M S ゴシック	○	無効	○○○○○	Pen: 1
普通地番	○	Pen: 3	3.0	M S ゴシック	○	無効	—————	Pen: 1
除外地	○	Pen: 3	3.0	M S ゴシック	○	無効	—————	Pen: 1
長狭物	○	Pen: 3	3.0	M S ゴシック	○	無効	—————	Pen: 1
仮市町村界		Pen: 1	3.0	M S ゴシック	○	無効	.....	Pen: 1
仮大字界		Pen: 1	3.0	M S ゴシック	○	無効	.....	Pen: 1
仮字界		Pen: 1	3.0	M S ゴシック	○	無効	.....	Pen: 1

地番名を半角文字で作成

地番結線を構成辺の属性により作図

構成辺

属性	線種	ペン
区切線	.....	Pen
鎖線	.....	Pen

距離

属性	表示	ペン	サイズ	下
調査地区界		Pen: 1	1.5	
市町村界		Pen: 1	1.5	
大字界		Pen: 1	1.5	
字界		Pen: 1	1.5	
普通地番		Pen: 1	1.5	
除外地		Pen: 1	1.5	
長狭物		Pen: 1	1.5	
仮市町村界		Pen: 1	1.5	
仮大字界		Pen: 1	1.5	
仮字界		Pen: 1	1.5	

読み込み(R)... 印刷(P)...

地籍図 スタイル - [No.1]: 出荷時設定 (筆界点番号図)

地番 **測点** 地番情報 項目順序 地籍図枠

測点名						
属性	表示位置	表示	マークとの間隔	ペン	サイズ	フォント
筆界点	自動	点名	0.5	Pen: 1	1.5	M S ゴシック
図根点	自動	点名	0.5	Pen: 1	1.5	M S ゴシック

測点名を半角文字で作成

図根点マーク			
図根点種別	表示	座標管理	種類
基本三角点	○	無効	△3.0-3-3
1級基準点	○	無効	△3.0-3-3
電子基準点	○	無効	◇3.0-3-3
2級基準点	○	無効	▽3.0-1-1
地籍図根三角点	○	無効	▽3.0-1-1
街区三角点	○	無効	▽3.0-1-1
標定点	○	無効	▽3.0-1-1
3, 4級基準点	○	無効	◇2.5-1-1
地籍図根多角点	○	無効	◇2.5-1-1
街区多角点	○	無効	◇2.5-1-1
補助基準点	○	無効	○2.0-3-3
航測図根点	○	無効	⊕2.5-1-1
細部図根点	○	無効	⊕2.0-1-1
基本水準点・基準水準点	○	無効	□2.5-3-3
その他の図根点	○	無効	○2.0-1-1

筆界点マーク			
属性	表示	座標管理	種類
筆界点	○	無効	○1.5-1-1
筆界基準杭		無効	○2.0-1-1

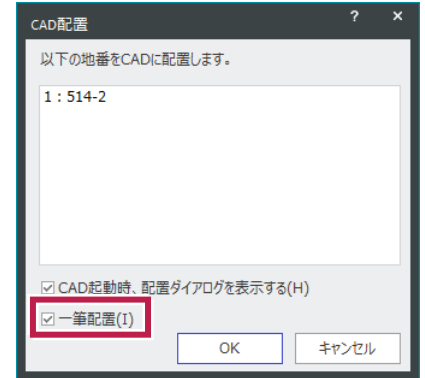
杭種						
属性	表示位置	枠	測点名との間隔	ペン	サイズ	フォント
筆界点	なし	○	0.5	Pen: 1	1.5	M S ゴシック
図根点	なし	○	0.5	Pen: 1	1.5	M S ゴシック

読み込み(R)... 書き込み(W)... データ転送(I)... 一括訂正(B)...

印刷(P)... OK キャンセル

## 14-9 地積測量図に一括で方位と引照点を配置する

地番管理の〔計算書・図面〕グループ－〔CAD配置〕の〔一筆配置〕と、CADの〔図面配置〕タブ－〔配置〕グループ－〔地積測量図〕－〔地積測量図一筆配置〕で、「方位マーク」と「引照点・境界点」を一括で配置できるようにしました。



No.	引照点No	引照点名	後視点No	後視点名	境界点
1	1		2	5	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					

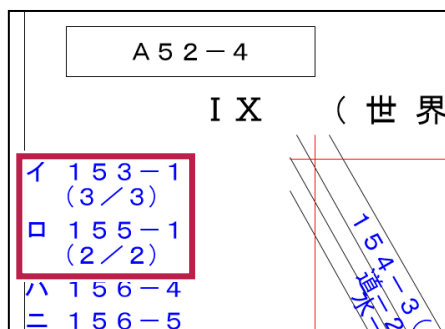
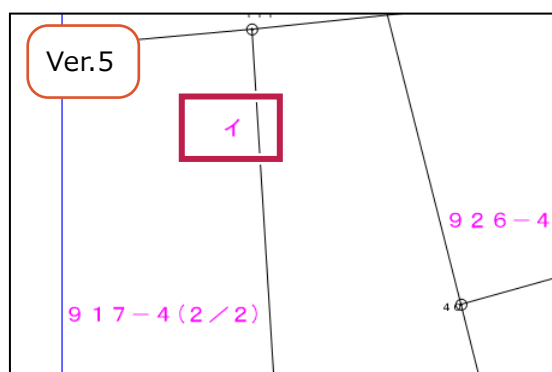
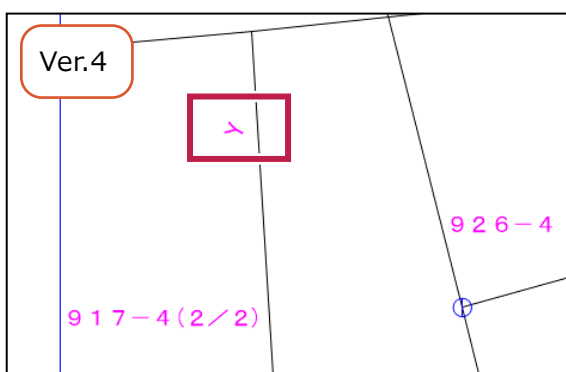
配置オプション:

- 方位マーク配置(H)
- 用紙右上からのオフセット
  - 縦(A) 40.0 mm
  - 横(B) 25.0 mm
- サイズ(S) 35.0 mm
- ペン(P) Pen 1
- 形状(D) 方位 1

ボタン: 作成, 保持, キャンセル

## 14-10 注釈のイロハ処理の改善

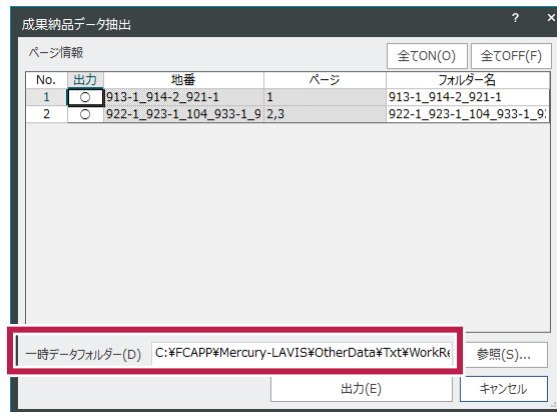
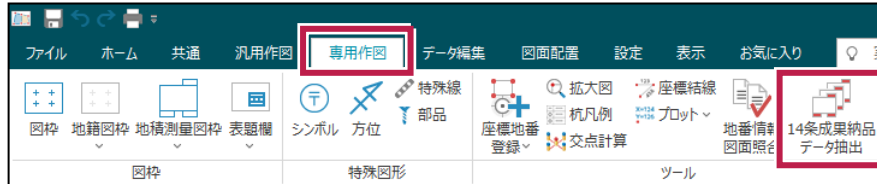
[専用作図]タブー [地籍図専用ツール] グループー [注釈] における欄外処理で、「イロハ」文字を配置する際に文字を回転しないように改善しました。また、欄外の分属文字に対するに2段配置に対応しました。



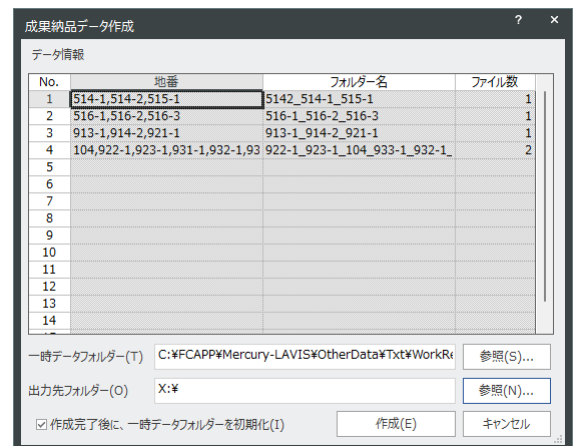
## 14-11 14条地図作成業務における納品成果

CADに「専用作図」タブ「ツール」グループ「14条成果納品データ抽出」を追加し、14条地図作成作業における成果で必要となるデータを一時フォルダーに集約できるようにしました。

また、管理プログラムに「ツール」 - 「ツール」 - 「14条成果納品データ作成」を追加し、一時フォルダーに集約したデータを整理して、「図面一筆関連設定用ファイル（CSV）」および「図面ファイル（tif）」（地積測量図）の一括出力に対応しました。



管理プログラムの「ツール」 - 「ツール」 - 「14条成果納品データ作成」でCSVファイルとtifファイルを出力します。

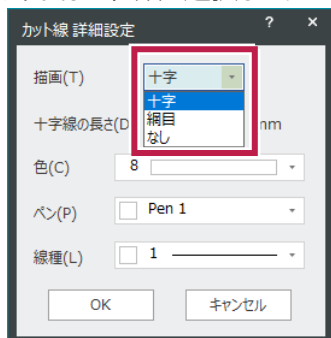


## 14-12 印刷用ページ作成に対応

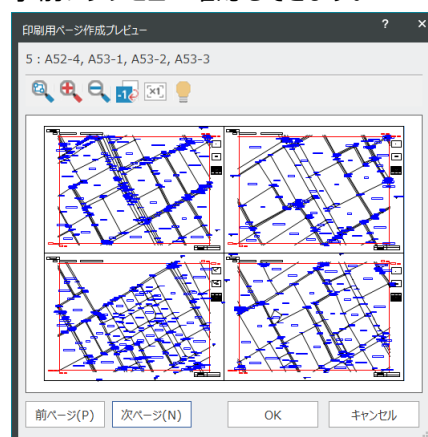
[表示] タブ - [ページ] グループ - [ページ一覧] - [印刷用ページ作成] を追加し、地籍図の印刷用ページを合成できるようにしました。「用紙サイズ」と「縦横の配置数」と「カット線の種類」を指定し、複数の地籍図を並べて配置して印刷します。



カット線の種類を選択します。

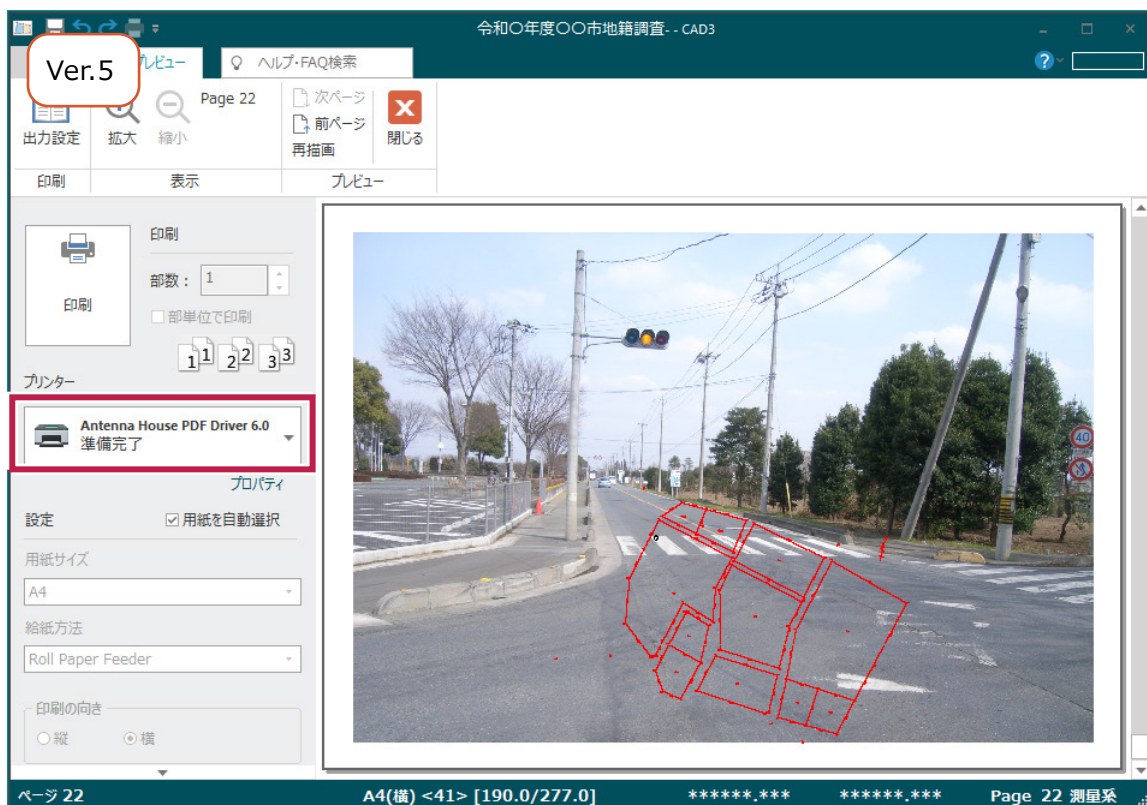


事前にプレビュー確認もできます。



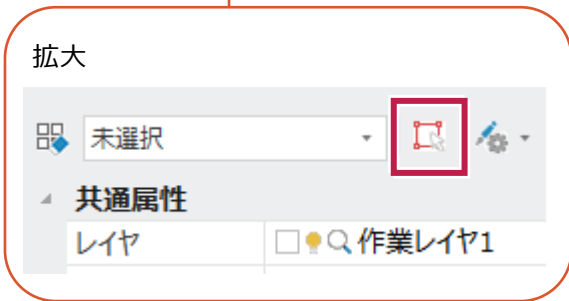
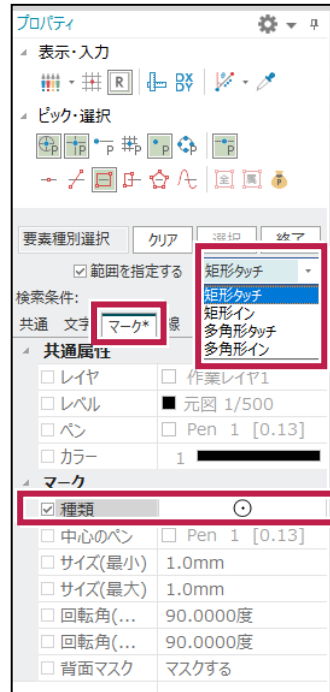
## 14-13 画像を含む PDF 出力の強化

画像を含む図面をPDF出力する際に、カラー画像の上にモノクロ画像を配置した場合、モノクロ画像の背景が白抜きにならないようにしました。

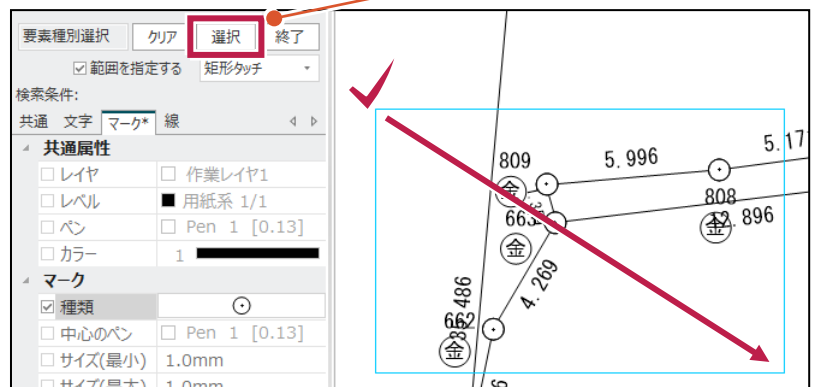


# 14-14 作図要素の属性一括変更

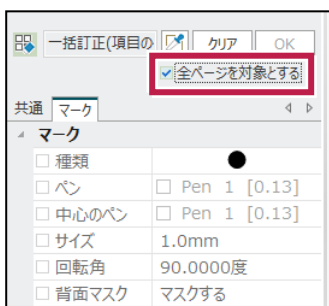
プロパティバーに「要素種別選択」を追加し、図面から範囲を指定して、指定した属性へ一括変更できるようにしました。範囲選択しない場合は、全ページを対象に一括訂正を行います。また、「設定」タブ「設定」グループ「形状表示」に「文字」タブを追加し、文字のレイヤ（属性）から対象を範囲選択することもできるようにしました。



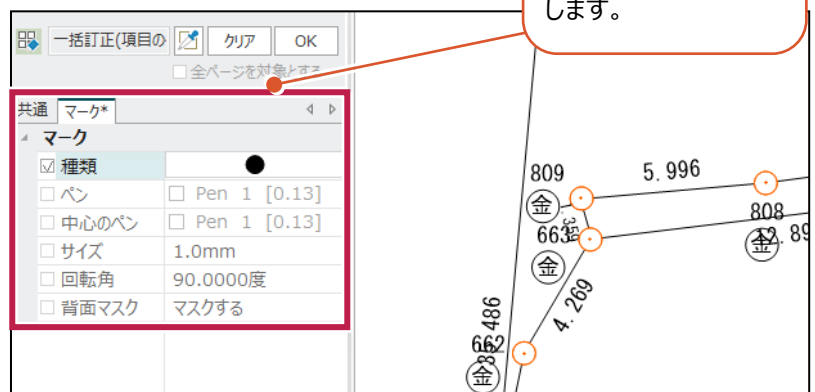
範囲指定後に「選択」をクリックします。

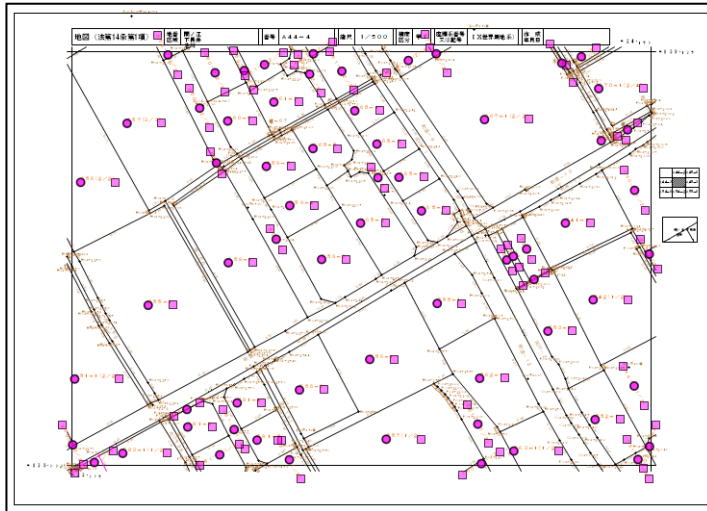


範囲指定しない場合



変更後の属性を指定します。





形状表示

サムネイル リスト **文字**

選択要素を中央表示する 要素数 821 (選択数 66)

レイヤ	文字列	サイズ	フォント	線
国調図 地番 名称	781-4	3.00	MS ゴシック	
国調図 地番 名称	781-5	3.00	MS ゴシック	
国調図 地番 名称	781-6(1/...	3.00	MS ゴシック	
国調図 地番 名称	781-8(1/...	3.00	MS ゴシック	
国調図 地番 名称	781-9	3.00	MS ゴシック	
国調図 地番 名称	781-10	3.00	MS ゴシック	
国調図 地番 名称	783-1(1/...	3.00	MS ゴシック	
国調図 地番 名称	784-1(1/...	3.00	MS ゴシック	
国調図 長狭物 名称	河川-1	3.00	MS ゴシック	
国調図 長狭物 名称	水-71	3.00	MS ゴシック	
国調図 長狭物 名称	水-72	3.00	MS ゴシック	
国調図 長狭物 名称	水-73	3.00	MS ゴシック	
国調図 長狭物 名称	水-75	3.00	MS ゴシック	
国調図 長狭物 名称	水-81	3.00	MS ゴシック	



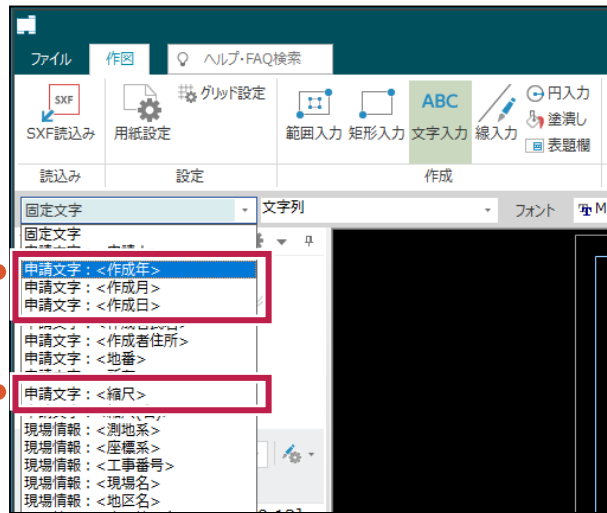
# 15 図枠カスタマイズツール

## 15-1 連動文字の強化

一筆詳細図と地積測量図の配置において、「作成年月日」と「縮尺」は一つの連動文字を配置するだけで「〇〇年〇〇月〇〇日」と「1/500」と作図されるように、連動文字を追加しました。

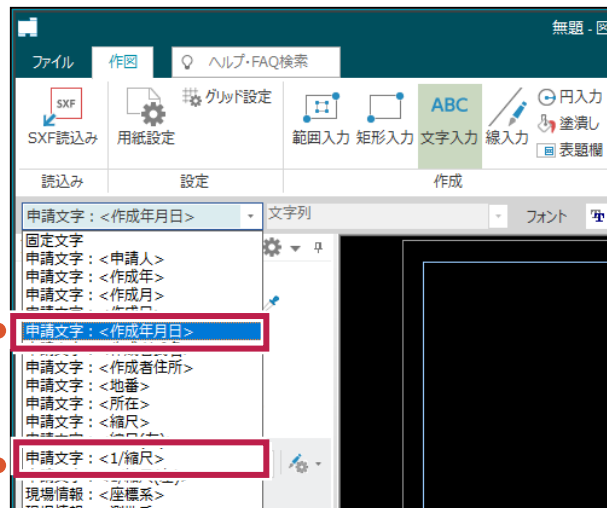
従来は、「作成年」「作成月」「作成日」をそれぞれ配置する必要がありました。

従来は、「1」「/」「縮尺」をそれぞれ配置する必要がありました。



「作成年月日」で「2023年07月19日」のように配置できます。

「1/縮尺」で「1/500」のように配置できます。



## 15-2 連動文字の変更

地積測量図の配置において、現場情報をMercury-LAVIS用に整理しました。

